資料No.11	総務文教常任委員会所管事務報告資料 令和５年３月８日【企画振興部企画課】

行政改革の推進について

行政改革の推進について報告いたします。

■ 報告項目

Ⅰ　事務事業評価について（１～７ページ）
　①過年度事務事業評価対象事業の進捗状況調査結果
　②令和４年度からの事務事業評価結果

Ⅱ　市民参加手法（令和３年度事業）実施調査結果について（９～５２ページ）

Ⅰ　事務事業評価について

①過年度事務事業評価対象事業の進捗状況調査結果

番号	事業名	担当課	担当課進捗状況	専門部会評価
1	子どもひろば事業（直営事業）	子ども家庭課	「えにわ子どもひろば」「しままつ子どもひろば」について、令和4年度から指定管理者制度を導入した「こがね」や「かしわ」の実績等を踏まえ、令和5年度に民間委託を検討する。	検討継続 今年度から導入した「こがね」「かしわ」の状況を踏まえ、次年度以降も「えにわ」と「しままつ」について民間委託を検討していくことから「検討継続」とする。
2	子育て支援センター事業	子ども家庭課	今年度導入した指定管理者の実績を踏まえ、令和5年度に島松・恵庭の民間委託を検討する。柏陽については、当面は直営で実施。	検討継続 今年度から導入した「黄金」「柏」の状況を踏まえ、次年度以降も直営2箇所（島松・恵庭）について民間委託を検討していくことから「検討継続」とする。
3	窓口サービス改善検討	各窓口担当課及び総務課・企画課	ワンストップ窓口についてはおくやみ窓口が今年度から本格実施。キャッシュレス決済の導入に合わせた証明書発行窓口の統一化の検討を行っているところ。行政手続のオンライン化について今後推進予定。	検討継続 キャッシュレス決済の導入に合わせた証明書発行窓口の統一化の検討や更なる行政手続のオンライン化を推進することから「検討継続」とする。
4	文書管理改善による業務の効率化	総務課	ファイリングシステムの巡回指導は　11月に実施予定。 永年保存文書の紙データの電子化について検討を始めた。今後も先進自治体の取組状況について調査研究を行っていく。	終了 紙データの電子化について今後も研究を継続していくが、今年度からの事務事業対象事業に類似の案件があることから、新たな課題を包含した新たな選定事業に集約するため、この案件については終了とする。
5	自治活動交付金の見直し	生活環境課	町内会・自治会に関するアンケート調査を実施予定。その後、アンケート結果を踏まえ、町内会連合会と協議し、自治活動交付金のあり方を検討する。	検討継続 今年度アンケート調査を実施し、自治活動交付金のあり方を検討することから「検討継続」とする。

【専門部会評価】

・完了…検討内容につき、担当課及び専門部会が達成したとみなした場合、「完了」とする。

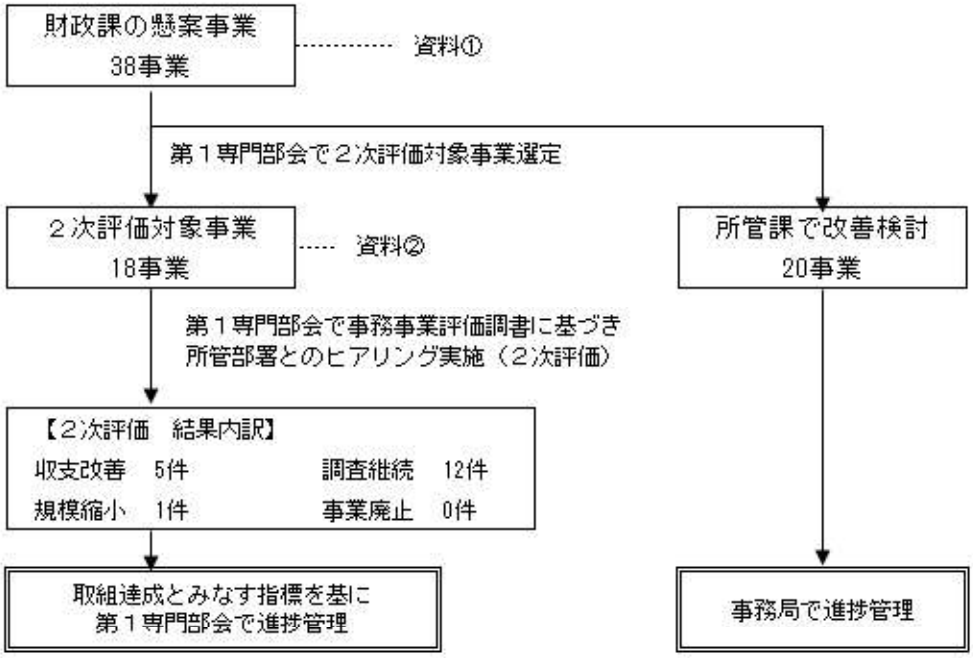
・検討継続…令和5年度以降も、引き続き、担当課について継続検討するもの。

②令和４年度からの事務事業評価結果について

１．これまでの経過

令和４年度予算査定の中で財政課から所管課へ指摘しているが改善の方向性が見られない事業の中から事務事業評価対象事業を選定し、行革専門部会を活用しながら２次評価を実施した。

２．評価事業抽出までの流れ



※行革推進委員会において、評価対象事業の選定判断や選定された 18 事業を中心に意見をもらうこととする。（３月下旬開催予定）

３．今後の予定

３月下旬　　第３回行政改革推進委員会開催
※12/23 開催の委員会において、資料に基づき事務局説明は終了済み
４月以降　　行革本部会議において審議内容を報告

資料①

○令和4年度予算査定時に抽出した38事業から2次評価対象事業に選別した事業一覧表

No.	事業名	所　属	令和４年度予算査定時の指摘項目	所管課の改善方策 （今後の取組内容）	専門部会判断理由	第１専門部会判断
1	一般事務費（総務課）	総務課	①RPA等導入の際の公営企業の費用負担検討 ②全庁的な電子申請の推進	①費用負担を求める ②実施計画の推進体制に基づき推進	電子申請の推進は、全庁的にわたる取組。業務手法を見直しながら行政DX担当を中心に強力に進めたほうが効果的。	×
2	文書管理費	総務課	①桜町書庫の代替保管先の検討 ②公文書データ化、電子決裁の導入検討	①修繕方法につき関係課と協議、代替先の検討 ②先進地の取組を調査研究	公文書データ化はH29年度に実施した「課・職員提案」メニューにある。状況も変化していることから今回の提案を採用。	○
3	車両管理費	管財契約課	①車両調達の際の安価な中古車の検討 ②公用車の一元管理 ③公用車の廃止に際し、ネット公売の検討	①所管課の配属車は実績あり ②予約システムを活用することは可能 ③昨年度オークション実施済み 　廃車時にはネットオークション利用を検討	今後の改善方策について、所管課において整理済み。所管課が中心となって検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	×
4	基金運用	会計課	債券などによる基金運用の検討	公共債に関する定期的な情報収集 基金の長期運用可能性の検討	所管課が中心となって検討していくほうが早急に対応できることが期待できるが、一方、行革委員に有識者もいることから意見を募ることも可能	○
5	賦課事務費	税務課	電子化導入による会計年度職員の削減	電子化導入による影響は、正職員担当の業務効率化による時間外勤務の削減。現時点では会計年度の人工数削減効果は限定的。税務LANの稼働が安定した段階で改めて検討。	所管課において改善方策を整理していることから、内部業務の見直しも併せて検討しながら所管課が中心となって検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	×
6	徴収事務費	債権管理課	RPA等による会計年度職員の削減	徴収担当の会計年度職員が現状で1人工であり、RPAによる人工の見直しは現状難しい。収納管理業務のRPA活用などによりR5以降検討。	収納管理や窓口担当の会計年度職員業務のDX化と合わせて人工の検討をしていくべき課題。所管課が中心で対応するべき。	×
7	社会福祉関係団体育成事業費	福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること （社会福祉協議会への事業費補助）	次年度予算編成に向け社協と協議を検討	所管課において課題を認識しているため、所管課が中心となって社協と協議を行う一方、補助金のあり方について検証するため行革で意見をもらうことは可能。	○
8	地域福祉事業費	介護福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること （社会福祉協議会への事業費補助）	次年度予算編成に向け社協と協議を検討	所管課において課題を認識しているため、所管課が中心となって社協と協議を行う一方、補助金のあり方について検証するため行革で意見をもらうことは可能。	○
9	敬老祝品贈呈事業費	介護福祉課	対象年齢を限定し、事業費の上限設定の検討	R5年度は今年度の単価を上限に事業継続予定。R6年度以降、対象年齢の引き上げや対象年齢の限定を検討したい。	更なる支給対象年齢の引き上げ等により事業費を抑えられるよう所管課が検討するのであれば、行革メニューとはしない。	×
10	介護保険施設等高齢者対策推進事業費	介護福祉課	施設入所の高齢者への補助、自治活動交付金との整合性検討	自治活動交付金の見直し結果を踏まえて検討	自治活動交付金は、６次の行革メニューにある。また、補助金であればその使い道や実績の内容を踏まえ、存続の必要性の有無を検討する余地はある。	○
11	老人憩の家運営事業費	介護福祉課	高齢者施設の統廃合の検討	公共施設等総合管理計画において、高齢者施設の統廃合の方向性が示されており、周辺施設への機能移転等の可能性を検討。修繕についても抑制的に実施。	所管課においても周辺施設への機能移転を検討していくこととしているが、統廃合について市民意見をもらうことは可能。	○
12	高齢者健康増進事業費	介護福祉課	事業費増加のため、真に健康増進につながる運用の検討	利用範囲の拡大を図るため市のポータルアプリとの連携等の新たな方策を模索	どのような事業が健康増進につながる支援に当たるか等、市民の意見を参考にするのも一つの方法と考える。	○
13	重度心身障がい児者通院外出支援サービス事業費	障がい福祉課	タクシーチケットでの助成の仕方に変更	介助に係る負担が大きい社会資源（移送サービス事業者等）が不足しており対応できる事業者がいない。 今後も現行通り事業を実施。	タクシーへの代替は困難だと判断するが、一部保護者負担（受益者負担導入）を求める余地はある。	○

No.	事業名	所　属	令和４年度予算査定時の指摘項目	所管課の改善方策 （今後の取組内容）	専門部会判断理由	第１専門部会判断
14	学童クラブ運営費	子ども家庭課	デジタル化活用による連絡帳の廃止	令和4年度インセンティブ予算に申請中であり、所管課において改善の方策をはかる	保護者との連絡手段におけるアプリの導入、デジタル通信環境整備を所管課において検討していることから、行革メニューとしては取り上げない。	×
15	夜間・休日急病診療事業費	保健課	千歳市との広域連携及び病院への委託検討	千歳市との連携事業や運営委託について、引き続き検討	サービスの低下を招かないよう所管課が積極的に千歳市との連携や運営委託を引き続き検討していくほうが効果的と考える。	×
16	エネルギー対策事業費	生活環境課	企業が主体的にカーボンニュートラルへ取組む効果的な事業の検討	第３次恵庭市環境基本計画との整合を図りながら検討。中小企業等に対する排出量算出支援とデータ収集を通じた調査研究の実施。	今後の改善方策について、所管課において整理していることから、所管課が検討していくほうが早急に対応できることが期待できる。	×
17	高校プール開放運営費	健康スポーツ課	市民プール（恵庭南高校プール）としてのあり方検討	千歳市温水プール利活用に係る両市による協議の促進。恵庭南高校プールの利用促進。	改善方策を基に所管課が検討していくほうが早急に対応できることが期待できるが、実態としてあまり進んでいないことから行革メニューにする。	○
18	スポーツ振興基金運用事業費	健康スポーツ課	助成金の重複交付を避けるための補助要綱の見直し（中体連助成金と全国大会等派遣補助金）	教育総務課と、精査・検証を行いながら、補助金の申請・交付業務の一本化を行うための仕組みづくりを構築し、あわせて補助要綱見直し。	制度の目的を詳しく理解している所管課が検討していくほうが早急に対応できることが期待できるため、行革メニューとしては取り上げない。	×
19	スポーツ施設管理費	健康スポーツ課	パークゴルフ場の ①料金負担の導入 ②無料と有料施設によって維持管理費の差別化検討	①料金負担の方向性について検討 ②次期指定管理者の公募時に新たな提案を募る	次期指定管理者の更新検討が令和５年度のため、今年度は行革推進委員会で意見聴取の機会をはかれる。	○
20	市民スキー場維持管理費	健康スポーツ課	①夏場の利活用や通年運営の指定管理者制度の検討 ②リフト券の印刷ロスの削減	①夏場の運営方法等を含めた活用策の検討 ②複数年にわたり使用可能な運用を図る	夏場の活用策を含め、盤尻地区全体について、有識者会議において検討することとなっているため行革メニューにしない。	×
21	スケート場維持管理費	健康スポーツ課	①市民スケート場の夏場の利活用、収入増 ②学校スケートリンクと市民スケート場の統合	①施設有料化に向けた課題点の整理 ②スケート場利用に関するアンケート調査の実施	学校スケートリンクと市民スケート場の統合については、各学校の意向を把握した上で統合を検討したほうが良い。有料化についてはアンケートを実施することから、その結果を踏まえて行革委員会で検討しうる。	○
22	ごみ処理場運営管理（最終処分）費	廃棄物管理課	①清掃事業全体の費用見直し ②広域による連携（リサイクルセンターなど）	①令和２年度から３年度にかけ人工の見直し実施により経費を圧縮。 ②就労継続支援Ａ型作業所へ移行調整の実施	今後においても所管課において安定的な清掃業務費用を引き続き検討することの方が効果的と考える。	×
23	施設周辺地域対策整備費	廃棄物管理課	①個別排水処理助成金の施設更新時の対応 ②下水道使用料助成金の新規移住者の対応 ③農業用廃プラ助成金のリサイクル料金の適用	①１家屋につき１回、既に交付済みは対象外 ②新規居住者は対象外 ③農プラの処理には排ガス濃度の影響あり、リサイクルの推進	今後、所管部において地域と協議を行いながら、次期総合計画期間の始期までに、処分方法の検討を行うことが効果的と判断する。	×
24	勤労者関係費	商工労働課	補助額算出の根拠（シルバー人材センター運営費及び事業費）	シルバー人材センターより提出される事業計画書に基づき補助額を決定。予算の範囲内で支出することを協議。	収支状況を見極めた柔軟的な補助金額の決定ができるよう所管課がシルバーと協議するのが望ましいが、補助金のあり方検討として、行革メニューで検討余地はある。	○
25	就職促進事業費	商工労働課	事業手法内容の見直し	市内企業への就労につながるような方策を検討	所管課で手詰まり感があり、事業内容の新たな提案が難しいのであれば、行革で検討する余地はある。	○
26	市営牧場管理事業費	農政課	市営牧場の今後のあり方、千歳市との広域化	他市の市営牧場の運営方法など情報収集を行い、畜産振興のため事業を継続	安定的な収入確保のため牧場使用料も近年見直し実施。改善方策を承知している所管課が中心となって検討していくほうが課題に対して早急に対応できることが期待できる。	×

No.	事業名	所　属	令和４年度予算査定時の指摘項目	所管課の改善方策 （今後の取組内容）	専門部会判断理由	第１専門部会判断
27	中小企業振興対策事業費	商工労働課	駅まちプラザ委託料の減額検討	令和4年度の委託料については、リニューアルによる委託内容の見直しに伴い減額。次年度予算要求時期までに委託料の金額について引続き関係機関と協議。	次年度において更に減額することも難しいと考える。引き続き所管課において関係機関と協議していただきたい。	×
28	台湾経済交流推進事業費	商工労働課	効果的な事業検討、効果検証	コロナの状況と、日本・台湾相互の訪問の可能性を検討しながら今後の事業の進め方検討。	今後の事業の進め方について所管課において早期に効果検証を行い、今後の事業の進め方検討するのが効果的であるが、専門部会で協議する余地はある。	○
29	観光推進事業費	花と緑観光課	観光協会の事業内容の見直し、効果検証	観光協会の事業内容は、センターハウス内での通年の観光案内業務であり、非常に明確。そのまま継続。	観光協会への委託料と実際の事業内容の効果検証が十分にされているかが課題。効果検証を行い、行革で改善案を検討する余地はある。	○
30	建築指導費	まちづくり推進課	新たな耐震化施策の検討	住生活基本計画を策定中。同計画のなかで除却（解体）補助金を含む新たな支援制度の検討を行う。	計画策定においては、所管課における審議会を活用し、専門的見識のある委員の意見を聴取しながら進めることとしているため、行革メニューとしない。	×
31	ルルマップ自然公園ふれらんど管理事業費	花と緑観光課	パークゴルフ場の新たな利活用の検討	若年層の利用者が少ないため今後さらに指定管理料が増大していくと考えられるため、別の用途に転用することが望ましい。	所管課でも課題を認識しているが、令和６年度が次期指定管理者選定時期となるため、行革の検討内容を参考にするのも効果的。	○
32	消火栓更新整備事業費	消防本部	水道管更新と消火栓更新のタイミングを合わせる	上水道課と調整のうえ令和４年度から令和７年度までの水道工事計画を策定。今後も連携を取りながら更新のタイミングや長期計画の見直しを図る。	令和２年度まで行革メニューにあがっていた案件。所管課において課題を認識しており、改善向け取組んでいる途上のため、行革メニューにしない。	×
33	学力・体力向上推進事業費	教育総務課	外国語外部人材の必要性と役割、今後の方針	地域人材の活用は、本来の目的はALTの役割の一部補完。引き続き、恵庭市学力・体力向上推進会議において、必要性の検証を行う。	所管課の推進会議で検討することが効果的と判断するため、行革メニューとして取り上げない。	×
34	スケートリンク造成・管理事業費	教育総務課	①一社随契の再検討 ②他事業者の参入しやすい仕組みの検討	①引き続き入札により受託業者選定 ②人手不足により市内業者で対応可能な業者は１社、市外も余力がない状態	今後の冬のスポーツ授業のあり方も含めて、所管課における専門的見地をもった委員会を活用して検討するほうが効果的。	×
35	基金活用事業費	社会教育課	市民文化祭の参加料等の有料化	有料化（会場使用料）について、今年度の実行委員会において審議する	今年度の実行委員会において会場使用料の有料化を検討することになっていることから、引き続き所管課において検討してもらう。	×
36	青少年宿泊研修施設管理運営費	社会教育課	市外利用条件の見直し	相手方と協議を行ってきたが、変更は難しいと判断。市外利用条件の見直しに限らず、歳入確保のための試みを実施していくこととしたい。	所管課において、RBPと今後も協議しながら歳入確保策について検討してもらいつつ、行革として状況を把握する必要がある。	○
37	学習振興費	社会教育課	市民講座の受講料の見直し	今後、近隣市の状況などを把握し、受講料及び講師謝礼の料金改定を行う。	今年度中に受講料及び講師謝礼の料金改定を検討し、次年度以降改正できるよう進めていけるよう、所管課において早急に取組むことが効果的と思われる。	×
38	墓園管理費	市民課	①墓園の必要面積の精査、②未利用地の利活用	需要把握と適切な墓園面積の精査の実施、未利用地については墓園以外の利活用についても視野に入れ検討。	①については所管課で精査し需要把握することが効果的。未利用地の検討については行革メニューけ検討可能。	○

【注釈】第１専門部会判断の欄中、「○」は専門部会において２次評価を実施することとした案件。「×」は専門部会において２次評価を実施しないこととした案件。

資料②

○第1専門部会で所管部署とのヒアリングの結果、作成した2次評価意見一覧表（18事業）

No.	事業名	所　属	令和４年度予算査定時の指摘項目	評価結果		２次評価意見	達成とみなす指標
1	文書管理費	総務課	①桜町書庫の代替保管先の検討 ②公文書データ化、電子決裁の導入検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	桜町書庫の保存文書等につき電子化に向けた手順やスケジュールを示す。	新たに保存する文書の電子化の手順や保存方法の指針を策定し、全庁に示す。
2	基金運用	会計課	債券などによる基金運用の検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	長期的な基金運用を行った場合の運用収入と利息負担の比較検討が必要	財政課や企画課と基金の将来的な運用につき協議し、長期運用が可能な金額を精査する。
3	社会福祉関係団体育成事業費	福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること（社会福祉協議会への事業費補助）	□外部評価 ■所管課改善	収支改善	社協へ補助する所管課が連携し全体像を把握する	事業費の積算根拠を明確にし支出方法を見直し予算作成する
4	地域福祉事業費	介護福祉課	事業費補助の積算根拠を明確化すること（社会福祉協議会への事業費補助）	□外部評価 ■所管課改善	収支改善	社協へ補助する所管課が連携し全体像を把握する	事業費の積算根拠を明確にし支出方法を見直し予算作成する
5	介護保険施設等高齢者対策推進事業費	介護福祉課	施設入所の高齢者への補助、自治活動交付金との整合性検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	在宅者の敬老事業と施設補助金は同様の制度設計のため同調すべき	自治活動交付金の検討結果に合わせる
6	老人憩の家運営事業費	介護福祉課	高齢者施設の統廃合の検討	□外部評価 ■所管課改善	規模縮小	所管課で統廃合の年次計画や継続の方向性を管財契約課と連携し進行管理する	管財契約課と連携し、所管課の検討結果について公共施設等総合管理計画の中で整理し方向性を定める
7	高齢者健康増進事業費	介護福祉課	事業費増加のため、真に健康増進につながる運用の検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	外出機会の確保が事業目的であるため、タクシー利用は適当	今後実施するアンケート結果を分析し、使途等検証する
8	重度心身障がい児者通院外出支援サービス事業費	障がい福祉課	タクシーチケットでの助成の仕方に変更	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	重度の障がい者を移送する事業者が不足する現状において、タクシーチケットでの対応は困難	比較検討可能な代替案を調査し、対応可能な事業者があれば比較検証する
9	高校プール開放運営費	健康スポーツ課	市民プール（恵庭南高校プール）としてのあり方検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	プール利用者の実態とニーズを把握し、事業継続の可否判断や効率的な実施方法を速やかに検討する	事業継続の可否判断
10	スポーツ施設管理費（パークゴルフ場）	健康スポーツ課	パークゴルフ場の ①料金負担の導入 ②無料と有料施設によって維持管理費の差別化検討	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	有料化に必要な経費の積算など比較検討に必要な情報を整え、スポーツ振興まちづくり審議会で方向性をまとめる	有料化の可否判断
11	スケート場維持管理費	健康スポーツ課	①市民スケート場の夏場の利活用、収入増 ②学校スケートリンクと市民スケート場の統合	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	夏場の利用につき、令和５年度中にサウンディング調査による利活用調査を行い、審議会で方向性をまとめる	サウンディング調査等による夏季利用の可能性調査の実施

No.	事業名	所　属	令和４年度予算査定時の指摘項目	評価結果		２次評価意見	達成とみなす指標
12	勤労者関係費	商工労働課	補助額算出の根拠（シルバー人材センター運営費及び事業費）	□外部評価 ■所管課改善	収支改善	剰余金の積立ルール・使い道を明確にしたほうがいい。	補助金交付額についてルールを設け文書化する。 剰余金の取扱いルールを明確にし、市で把握する。
13	就職促進事業費	商工労働課	事業手法内容の見直し	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	所管課として企業側へ積極的に関わるべき。他市での同様な事業につき調査が必要。	所管課が積極的に関わり、実績報告やアンケート調査結果内容を踏まえ、参加企業を増やす工夫を図る。
14	台湾経済交流推進事業費	商工労働課	効果的な事業検討、効果検証	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	現在の事業について、関係部局との協議は必要。継続していく部分や縮小する部分など検討した上で事業再編を考えてもよい。	軸となる３事業（訪日教育旅行、商談会及び華僑招聘、ENIWAEYEサイト運営）のあり方につき、今後の方針を決定及び効果検証する。
15	観光推進事業費	花と緑観光課	観光協会の事業内容の見直し、効果検証	■外部評価 □所管課改善	調査継続	直営でなく委託事業として実施するメリットや効果について明確にする必要がある。	・所管課によるアンケート調査 ・効果検証手法について行革推進委員会の意見をフィードバックし、事業に反映するよう努める。
16	ルルマップ自然公園ふれらんど管理事業費	花と緑観光課	パークゴルフ場の新たな利活用の検討	□外部評価 ■所管課改善	収支改善	用途変更のみならず、利用者を増やす方向で考え、PRに注力することも必要ではないか。	施設のあり方検討会において、次期指定管理者検討時期までに今後の方向性を明確にする。
17	青少年宿泊研修施設管理運営費	社会教育課	市外利用条件の見直し	□外部評価 ■所管課改善	収支改善	市外利用者要件の見直し協議を次年度の改正に間に合うよう協議を進めるべき。	年度内に市外利用要件の緩和につき、恵庭RBP（株）と協議を終え、取扱要領の改正を行う。
18	墓園管理費	市民課	①墓園の必要面積の精査、②未利用地の利活用	□外部評価 ■所管課改善	調査継続	未利用地の利活用については検討済み。必要面積の精査については今後使用できる墓園状況を検討後、市民に示すことが必要。	市民への墓園使用のニーズ調査を経て必要面積の精査を行い、整備計画等で方針を固める。

Ⅱ　市民参加手法（令和３年度事業）実施調査結果について

○令和３年度事業　市民参加調書実績一覧

【凡例】
◎…原則として取り入れることが必須の市民参加手法
○…取り入れることが望ましい市民参加手法

●…実際に実施した市民参加手法（令和３年度）

整理番号	担当課	事業名	事業分類			市民参加手法対応表										実施した参加手法				後年次評価結果
						①市民へ公表・周知				②市民からの意見を募集			③市民と協議	④市民の理解を深める		①市民へ公表・周知	②市民からの意見募集	③市民と協議	④市民の理解を深める	
			計画	ソフト	ハード	広報誌への掲載（事業概要等）	ホームページへの掲載（事業概要等）	ホームページへの掲載（会議録・報告書等）	町内会回覧板・新聞・広告等の活用	パブリックコメントの実施	アンケート調査の実施	市民の広場・まちづくり提言・要望等の把握	市民委員会等での審議（ワークショップ等）	住民説明会の実施	シンポジウム・フォーラム等の開催					
1	企画課	第2期総合戦略の推進		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
2	企画課	恵庭市公式アプリシステム開発		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
3	企画課	行政改革の推進（第7次推進計画に基づく推進）		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●		確認済
4	企画課	多文化共生の推進		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●	●	確認済
5	企画課	えにわシティセールス事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
6	まちづくり推進課	エリアマネジメントの推進（恵庭地区・恵み野地区）			Ⅱ	○	○	◎	○		○	○	○	○	○	●	●	●	●	確認済
7	まちづくり推進課	都市計画マスタープランの推進	Ⅱ			○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			●	●	●	●	確認済
8	５０周年事業室	市制施行５０周年記念事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●	●	確認済
9	生活環境課	市民活動センター運営と推進		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
10	生活環境課	市民の広場事業（生活環境改善要望含む）		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●			確認済
11	生活環境課	安全で安心なまちづくりの推進	Ⅱ			○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			●	●	●		確認済
12	生活環境課	空家等対策の推進	Ⅱ			○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			●	●	●		確認済
13	廃棄物管理課	ごみ処理手数料等改定の適正運用		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●	●	確認済
14	生活環境課	第3次恵庭市環境基本計画（兼区域施策編）の策定	Ⅱ			○	◎	◎	○	◎	○	○	◎			●	●	●	●	確認済
15	健康スポーツ課	通年型屋外スポーツ施設の整備			Ⅰ	◎	◎	◎	○		◎	○	◎	◎	○	●	●	●		×
16	健康スポーツ課	屋内・屋外体育施設の整備・充実			Ⅱ	○	○	◎	○		○	○	○	○	○	●	●	●		確認済
17	健康スポーツ課	歩くことを通したまちづくり事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●	●	確認済
18	子ども家庭課	黄金ふれあいセンター指定管理者制度導入事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
19	商工労働課	産業連携推進事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●	●	確認済

【凡例】
◎…原則として取り入れることが必須の市民参加手法
○…取り入れることが望ましい市民参加手法

●…実際に実施した市民参加手法（令和３年度）

整理番号	担当課	事業名	事業分類	市民参加手法		市民参加手法対応表										実施した参加手法				後年次評価結果
						①市民へ公表・周知				②市民からの意見を募集			③市民と協議	④市民の理解を深める		①市民へ公表・周知	②市民からの意見募集	③市民と協議	④市民の理解を深める	
						広報誌への掲載（事業概要等）	ホームページへの掲載（事業概要等）	ホームページへの掲載（会議録・報告書等）	町内会回覧板・新聞・広告等の活用	パブリックコメントの実施	アンケート調査の実施	市民の広場・まちづくり提言・要望等の把握	市民委員会等での審議（ワークショップ等）	住民説明会の実施	シンポジウム・フォーラム等の開催					
			計画	ソフト	ハード															
20	商工労働課	産業連携推進事業（都市間交流）		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●			●	確認済
21	花と緑・観光課	観光推進計画の推進		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●	●	確認済
22	花と緑・観光課	観光推進事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●				確認済
23	花と緑・観光課	観光推進事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●				確認済
24	花と緑・観光課	市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●	●	確認済
25	花と緑・観光課	花のまちづくり推進事業		Ⅰ		◎	◎	◎	○		◎	○	◎	○	○	●	●	●	●	確認済
26	全国都市緑化北海道フェア推進室	第39回全国都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道2022）		Ⅰ		◎	◎	◎	○		◎	○	◎	○	○	●	●	●	●	確認済
27	経営管理課、下水道課	下水道事業ビジョンの策定及び下水道事業経営戦略の見直し	Ⅰ			◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	○	●	●	●		確認済
28	教育総務課	GIGAスクール構想		Ⅲ			○											●	●	確認済
29	教育総務課	学力・体力向上推進事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
30	社会教育課	第５期生涯学習基本計画の推進・評価		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
31	社会教育課	「生涯学習施設かしわのもり」指定管理者制度導入事業		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●		●		確認済
32	教育施設課	教職員住宅（管理者・集合）の在り方基本指針の改定			Ⅱ	○	○	◎	○		○	○	○	○	○	●	●	●		確認済
33	議会事務局	議会モニターの設置		Ⅱ		○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	●	●		確認済

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4 年 3　月 23 日作成

担当部課名　　企画課

事業名　第2期総合戦略の推進

作成者名　　川尻　智之

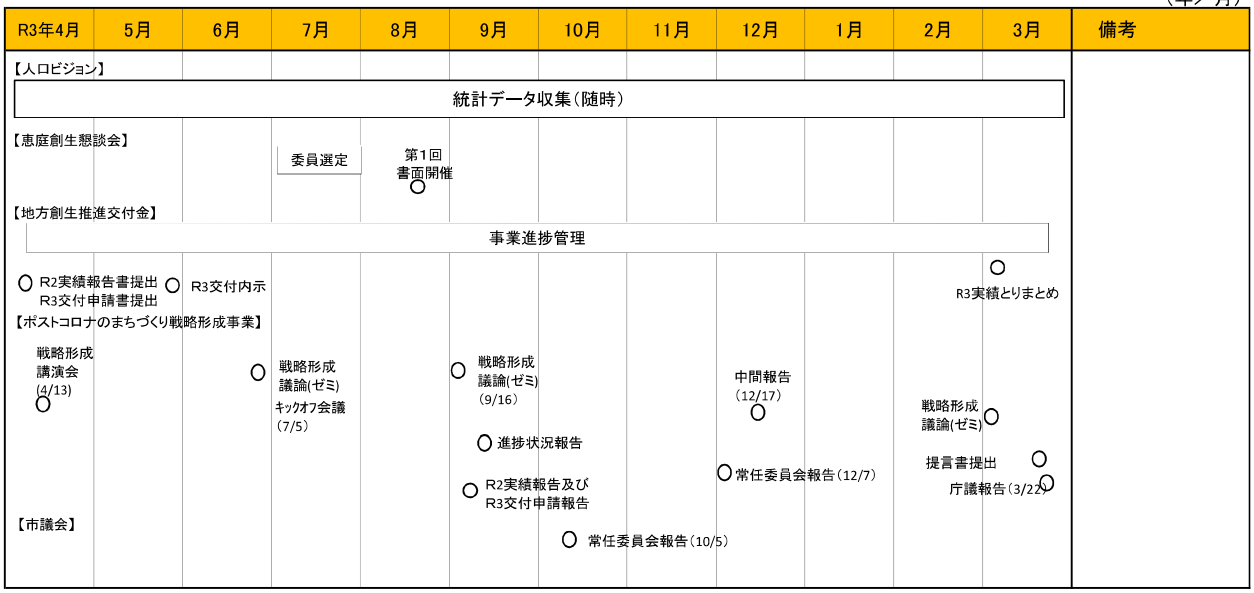
事業概要	恵庭市が次世代に向けて更なる発展を遂げ、この地で暮らすことに幸せを感じられるまちをつくり、人口減少や少子高齢化が急速に進む社会情勢にいても高い持続性を確保するため、短・中期的に取り組むべき施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの。 総合戦略に位置付けられた自主的・主体的で先導的な事業に対する国からの交付金である地方創生推進交付金を活用し、R2継続及びR3新規事業の事業推進を図る。 また、若手職員によるポストコロナのまちづくりに向けた政策提案事業を実施する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市HPへの掲載
□市民から意見を募集する	（R3は実施しない）
■市民と協議する	産業界（産）、行政機関（官）、大学（学）、金融機関（金）、マスメディア（言）、労働団体（労）、士業（士）による恵庭創生懇談会において協議（書面開催）
□市民の理解を深める	（R3は実施しない）
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	創生懇談会で報告・協議し、その結果をホームページに公表することにより施策を進めている。 ポストコロナの戦略形成事業については、令和4年3月の記者会見での発表を予定していたが、会見項目多数により実施されず。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4 年　3 月 23 日作成

担当部課名　企画課

事業名　恵庭市公式アプリシステム開発

作成者名　川尻　智之

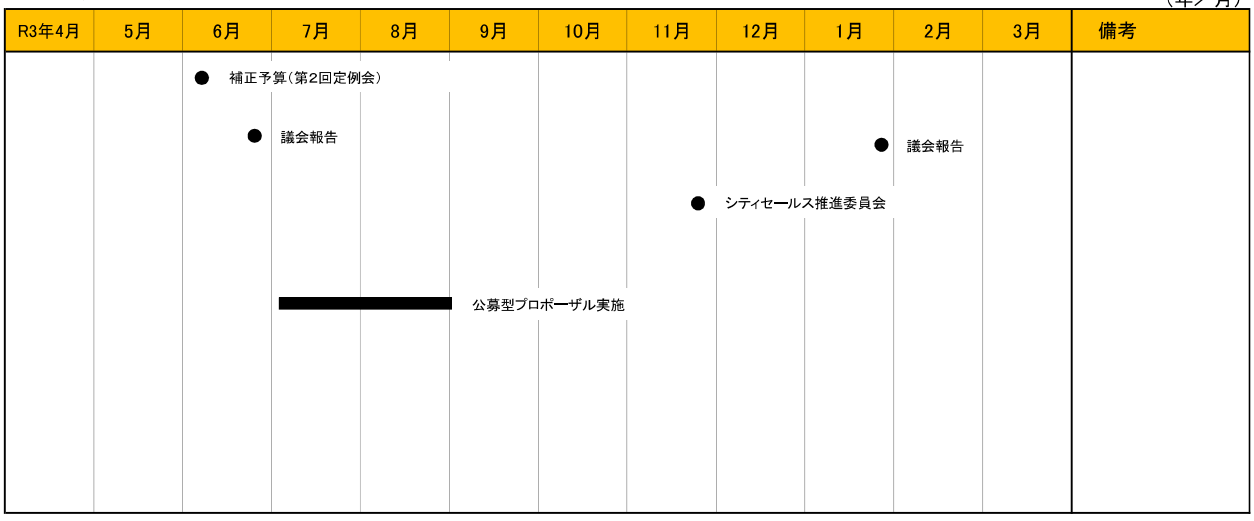
事業概要	地方創生推進交付金事業である「新ガーデンデザインプロジェクト推進事業」において、「観光」「市民生活（健康）」「経済」「まちづくり」の異なる分野において、共通で使用できるアプリを開発し、各分野をつなげ、一体的に施策を展開することにより、相乗効果を引き出し、各分野の課題解決を図ることを目的とする。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	・創生懇談会での協議事項をホームページに掲載
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	シティセールス推進委員会において市民委員との協議を実施。
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	初年度の開発仕様についてシティセールス推進委員会で市民と協議することにより、市民意見を反映させながら推進している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月30日作成

担当部課名　　企画課

事業名　行政改革の推進（第7次推進計画に基づく推進）

作成者名　　吉田　智哉

事業概要	第7次恵庭市行政改革推進計画に掲げた3本の柱（Ⅰ 時代に即した業務手法の見直し　Ⅱ 市民満足度と利便性の向上　Ⅲ 健全な行財政基盤の強化）に応じた取組を行う。

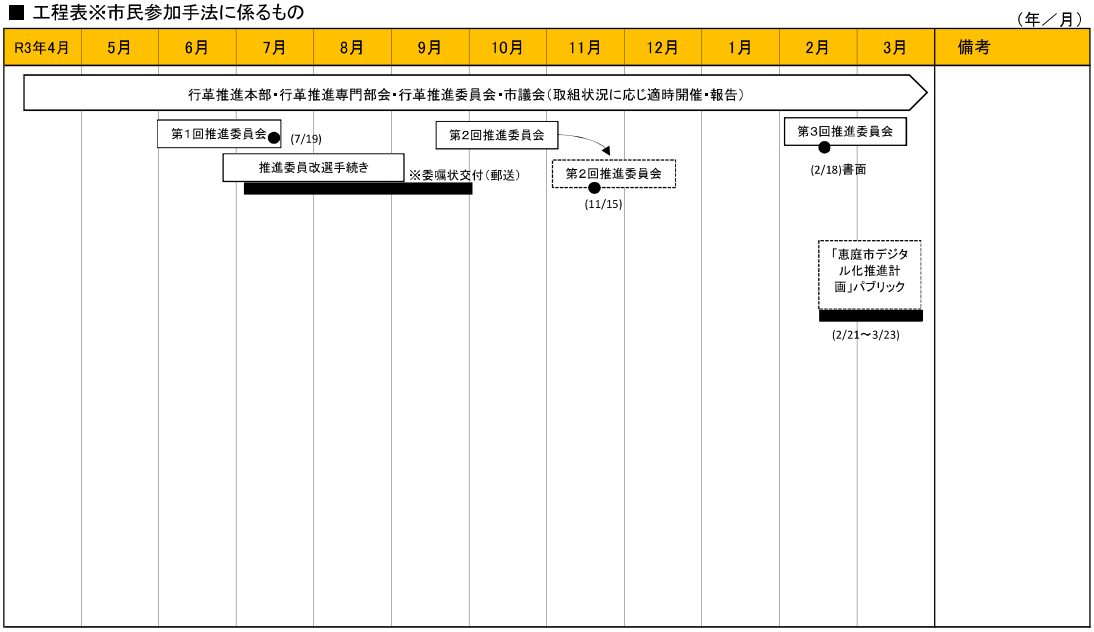
市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	行政改革推進委員会の会議内容等のホームページ掲載 委員改選に伴う市民委員の公募
■市民から意見を募集する	「恵庭市デジタル化推進計画」策定についてパブリックコメント実施
■市民と協議する	行政改革推進委員会で協議 令和3年度は会議を3回実施
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

事業期間	令和3年度～令和7年度

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	行政改革推進委員会で市民と協議することにより、市民意見を反映させながら行政改革を推進している。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4　年　3　月　7　日作成

担当部課名　企画振興部企画課

事業名　多文化共生の推進

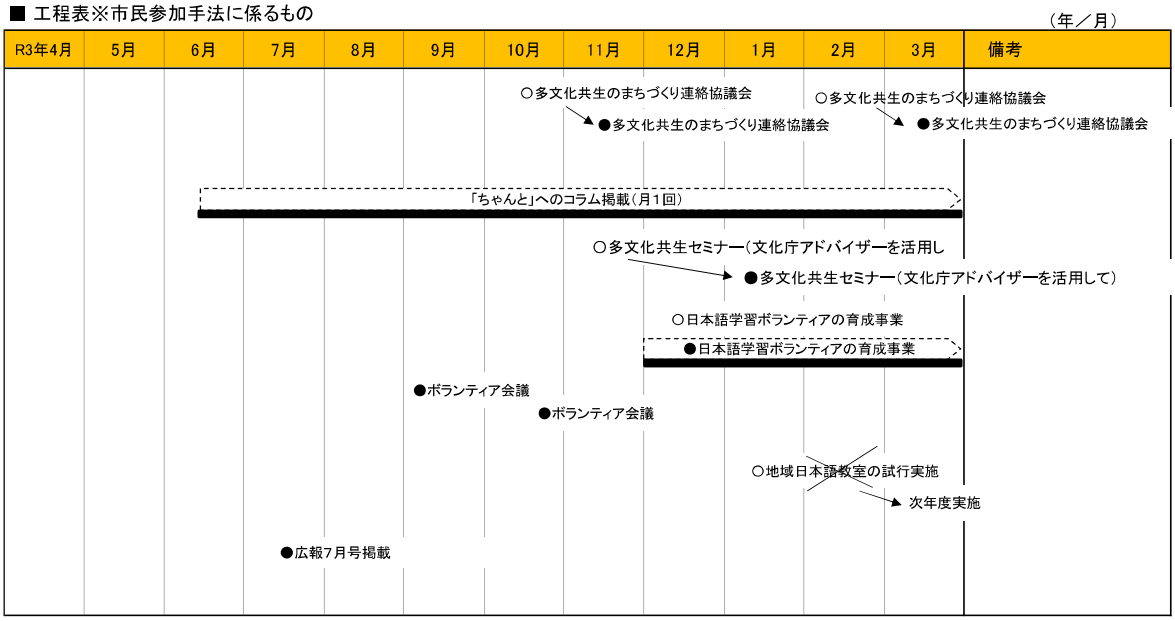
作成者名　小井　奈月

事業概要	地域における外国人住民との交流促進を図り、国籍や民族に関係なく安心安全に暮らせるまちづくりを進める。また、外国住民を地域社会の構成員として地域活動で活躍できるまちづくりを目指す。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	地域情報誌「ちゃんと」による取組の周知 広報誌への掲載（多文化共生・ホストタウン）
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 地域日本語教室ボランティア会議の実施
■市民の理解を深める	多文化共生セミナーの実施 地域情報誌「ちゃんと」へのコラム掲載による多文化共生の啓発
■市民と行動する	日本語学習ボランティアの育成

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの



令和3年度　所管課評価	広く市民に多文化共生を啓発するとともに、地域日本語教室を市民が主体となって実施することを目標にボランティアとともに施策を進めている。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4　年　3　月　7　日作成

担当部課名　企画振興部企画課

事業名　えにわシティセールス事業

作成者名　小井　奈月

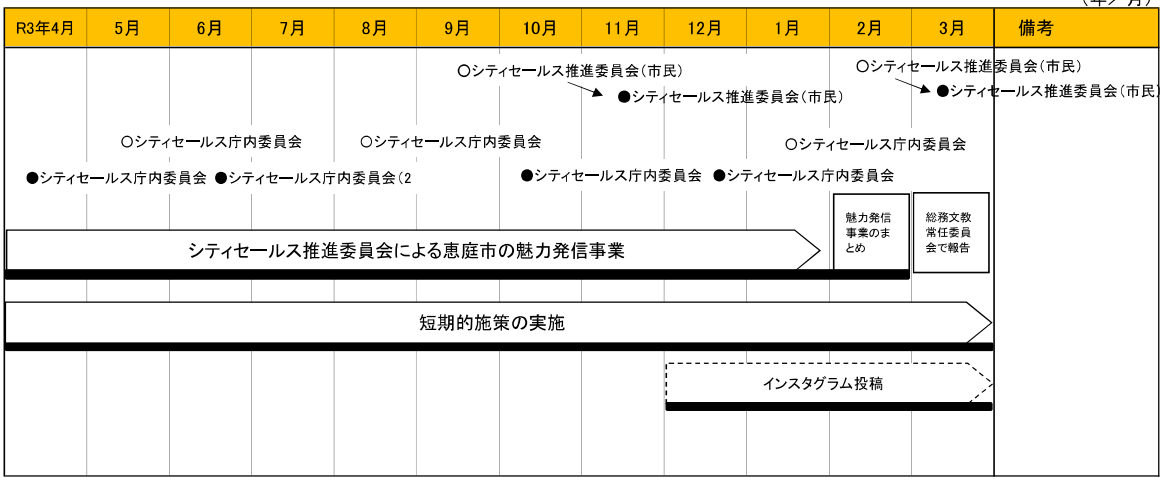
事業概要	まちの魅力を地域資源として捉え、シティセールスに取り組むことで、自分のまちに愛着を持つ人を増やすとともに、まちの知名度の向上や交流人口・定住人口の増加を図る。 H29年度に庁内検討委員会、H30年度に市民検討委員会を設置し、R元年度にプランを策定。市民・庁内推進委員会からの意見を基に、プランの進捗管理を行い、各施策に取り組む。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	シティセールス推進委員会議事録のHP掲載
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	シティセールス推進委員会の開催
□市民の理解を深める	
■市民と行動する	・ハッシュタグ「#ガーデンシティえにわ」によるインスタグラム投稿 （市民投稿を市公式インスタグラムで紹介）

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	シティセールス推進委員会の開催および議事録の公表のほか、インスタグラム投稿による市民参加型の魅力発信やふるさとへの誇りづくりを進めている。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月31　日作成

担当部課名：企画振興部まちづくり拠点整備室まちづくり推進課

事業名　エリアマネジメントの推進（恵庭地区、恵み野地区）

作成者名：佐藤　翔

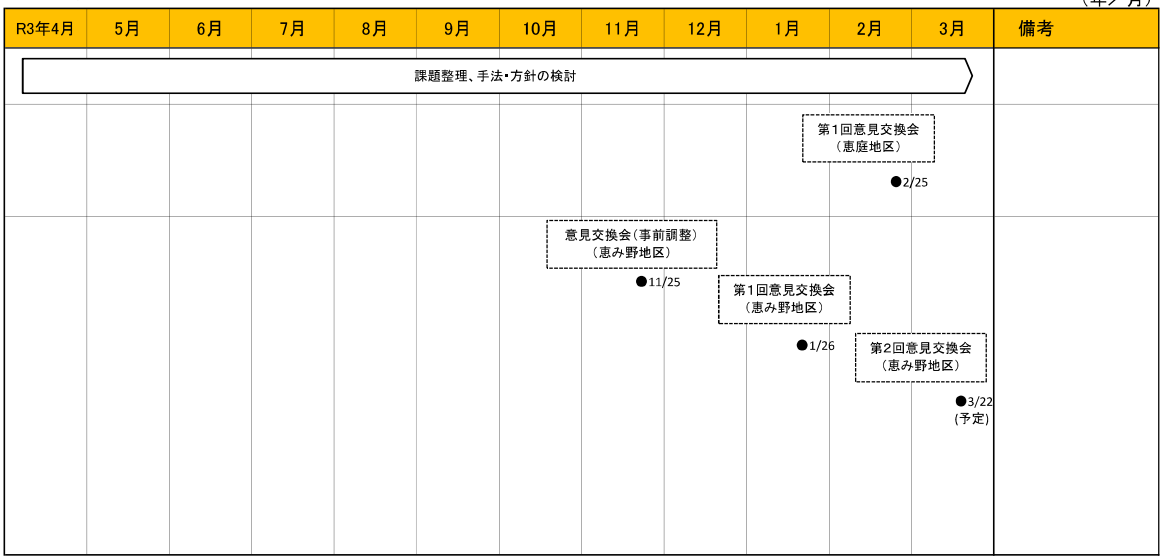
事業概要	都市計画マスタープランに基づき、行政主体の施設整備型まちづくりから脱却、地域主体のまちづくりに向け活動の主役となる商店街等との検討を積み重ねていく必要があることから、本年度は駅周辺のまちづくりについて、地域単位での検討の場として継続的な検討を進めるとともに、地域が主体的に行うまちづくり活動等に対して必要な支援を行い、地域の価値の向上・維持管理・運営に向け、住民・利用者・事業者等が主体的に取り組む仕組みづくりの支援を行う。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市民委員会
■市民から意見を募集する	意見交換会
■市民と協議する	エリアマネジメントのサポート検討
■市民の理解を深める	支援事業（専門家派遣等）
■市民と行動する	課題整理、手法・方針の検討

事業区分	ハード
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	各地域に属する市民（地域）が主体となって、各地域のまちづくりのあり方や地域マネジメントについて積極的に話し合う場を設けるとともに、具体的なまちづくりの方向性を見出す取り組みを市民（地域）と協働して進めている。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月31日作成

担当部課名：企画振興部まちづくり拠点整備室まちづくり推進課

事業名　都市計画マスタープランの推進

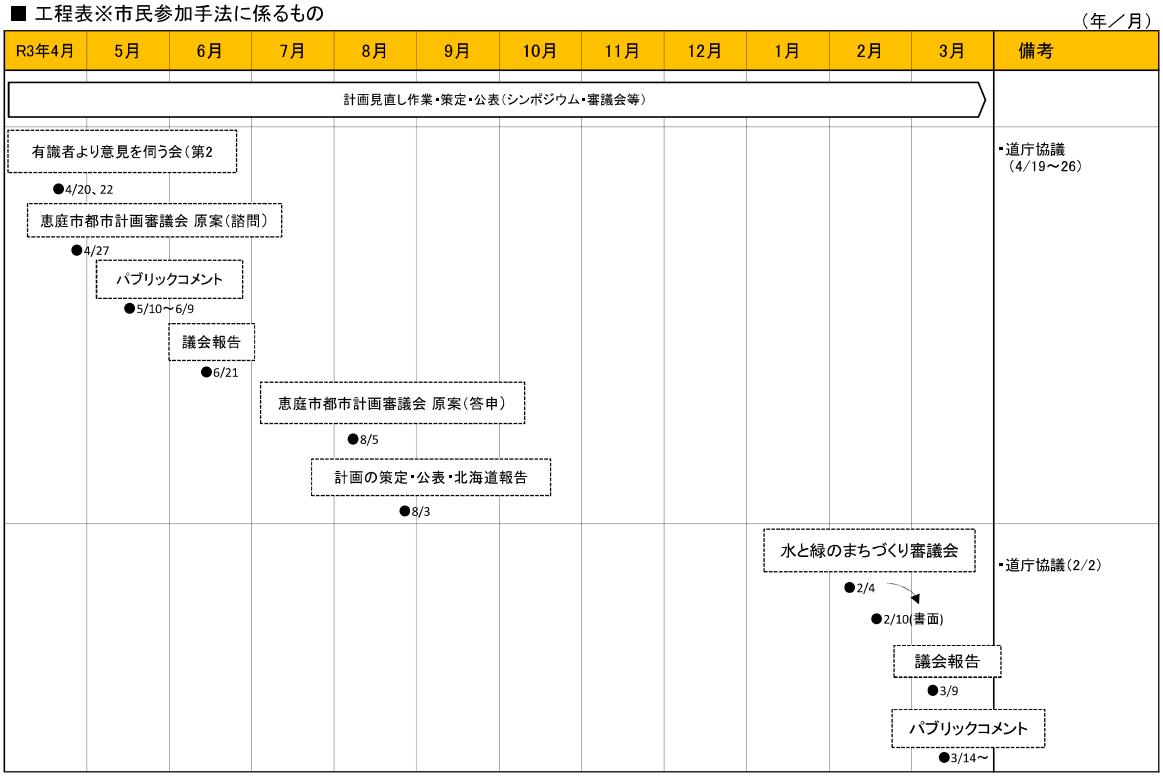
作成者名：屋仲 めぐみ

事業概要	平成23年に策定した「恵庭市都市計画マスタープラン」から10年が経過し、人口減少・高齢化の急速な進展、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大、第5期総合計画の策定など、まちづくりを取り巻く環境の大きな変化に対応するため計画の改定を行う。緑の基本計画についても平成25年に策定されてから目標年を迎えるにあたり、社会情勢の変化などの背景を踏まえこれまでの取り組みよる現状を把握し、前回計画の見直し計画として、第5期総合計画や令和3年に見直し予定の都市計画マスタープランと整合を図り計画の改訂を行う。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	広報誌への掲載及びホームページへの掲載
■市民から意見を募集する	パブリックコメントの実施、参加型シンポジウムの開催
■市民と協議する	都市計画審議会、水と緑のまちづくり審議会での審議、参加型シンポジウムの開催
■市民の理解を深める	参加型シンポジウムの開催
□市民と行動する	

事業区分	計画策定事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの



令和3年度　所管課評価	都市計画マスタープランの見直しでは、前年度までの参加型シンポジウムの開催や審議会等を通じて市民意見を聴取・反映した内容を踏まえ、令和3年度はパブリックコメントを実施し、計画策定と公表に至った。 緑の基本計画の見直しでは、都市計画マスタープランの策定時に聴取した意見に加え、審議会を通じて市民及び有識者の意見を聴取・反映させた内容にてパブリックコメントを実施している。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月4日作成

担当部課名　企画振興部50周年事業室

事業名　市制施行50周年記念事業

作成者名　宮川　翔平

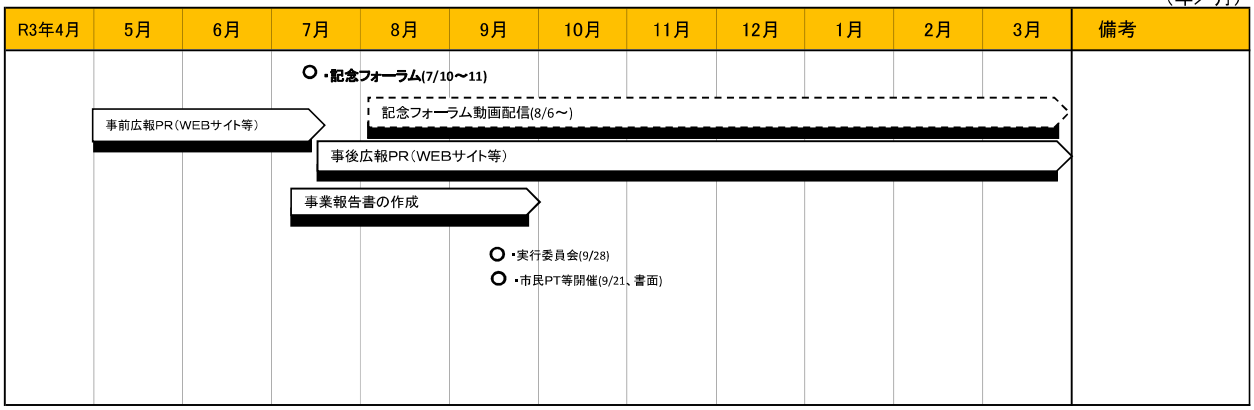
事業概要	市制施行50周年記念事業のメイン事業である「記念フォーラム」はコロナの影響により1年延期となったが令和3年7月10日・11日に実施する。記念フォーラムをこれからの新しい時代の地方都市像を展望する機会にするとともに、その成果を恵庭市から発信し今後のまちづくりに生かす。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	広報誌・市HPへの掲載、フォーラム専用サイトの稼働、新聞・Web広告等の実施
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	一般公募も含む実行委員会等で協議
■市民の理解を深める	記念フォーラムの実施
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	広報誌・市HPといった従来の市民周知方法に加え、Web広告やTVスポットCMなど様々な手法を用いて広く本フォーラムの周知を行った。また、このフォーラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策のため入場者数を制限したが、フォーラムの動画を事後配信することで、より多くの方にフォーラムの内容に触れてもらい、新しい時代に向けたまちづくりを展望してもらう機会となった。9月には実行委員会と市民PT会議(書面)を実施し、記念フォーラムを含む50周年事業の総括と報告を行った。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　市民生活課

事業名　市民活動センター運営と推進

作成者名　須 貝 尚 文

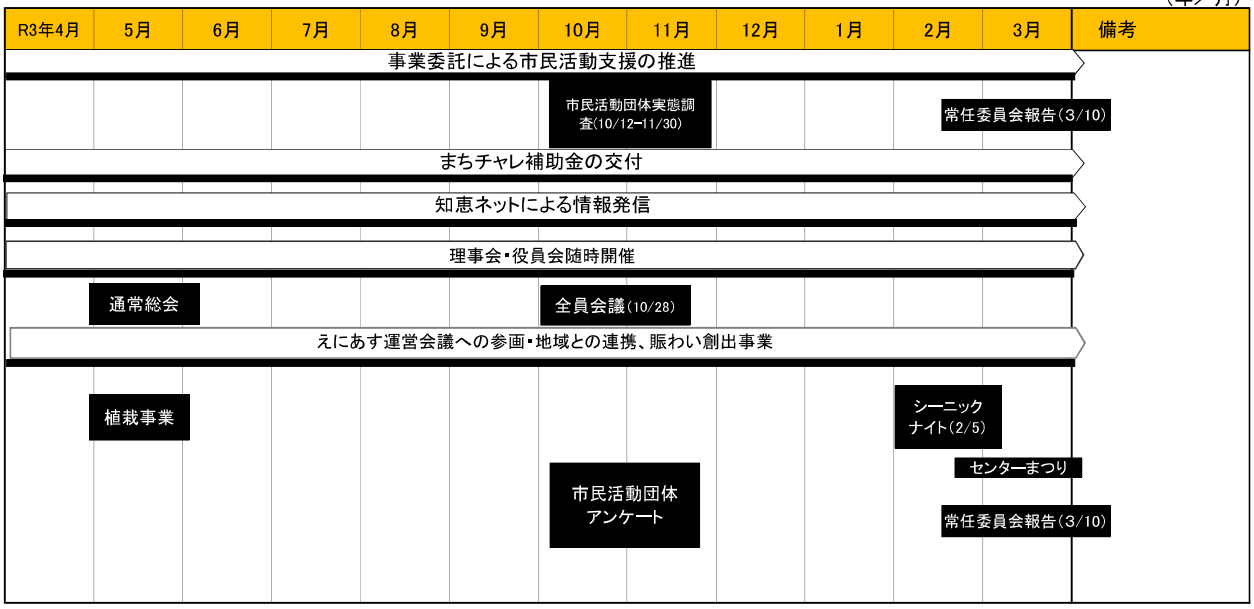
事業概要	市民活動センターの運営管理等をNPO法人となった市民活動センター運営協議会へ委託し、地域との連携、賑わいづくり等事業の推進を図る。 委託事業 ①情報収集・発信機能　②相談機能　③コーディネート機能　④人材育成・研修機能　⑤調査・研究機能 ⑥活動支援機能　⑦支援品貸出機能　⑧交流機能　⑨センター運営管理

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	知恵ネットなどの情報媒体を用い、活動内容を周知する。
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	会員による通常総会を5月に行い、事業計画を決定する。
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	5月に通常総会、10月に実態調査を実施し利用者の意見を反映させながら市民活動センターを運営している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　市民生活課

事業名　市民の広場事業（生活環境改善要望含む）

作成者名　須 員 尚 文

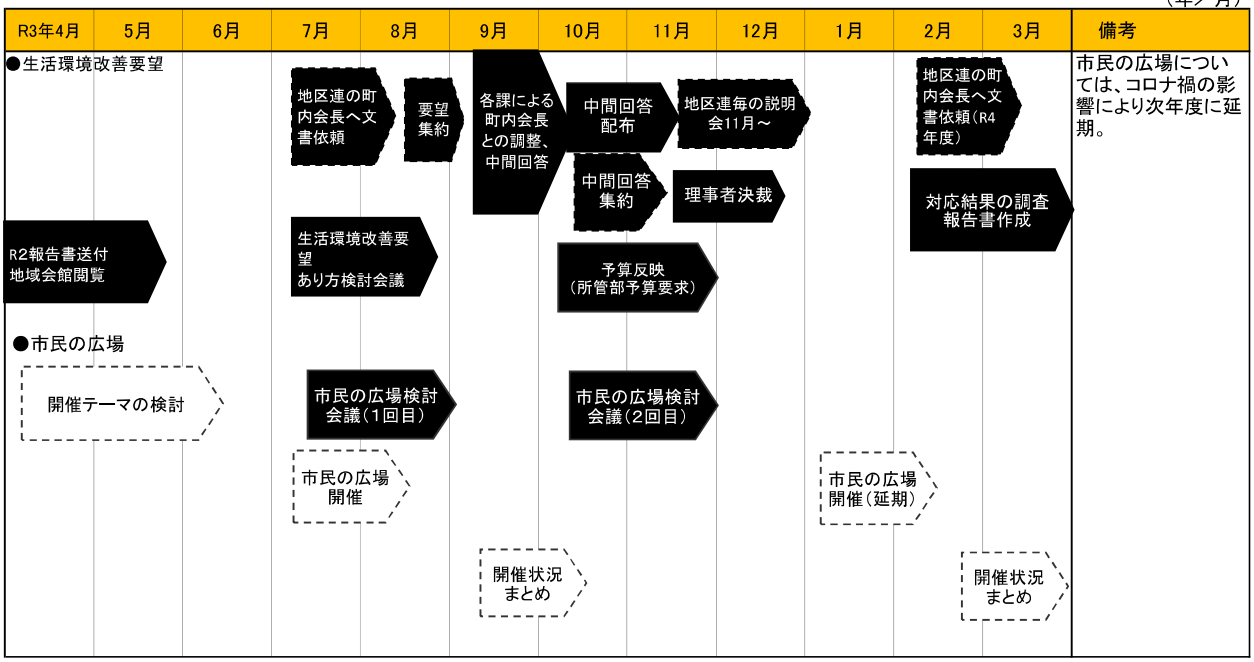
事業概要	（生活環境改善要望） 平成26年度より従来の生活環境改善要望については、地域からの生活環境の改善に関する質問・要望を地区連毎に取りまとめ、文書回答することを基本とし、意見交換の場は要望がない限り、設けていない。 （市民の広場） 地域の抱える様々な問題に対して、市長及び職員が地域に出向き、対話しながら協働のまちづくりを進めることを主眼に平成22年度から実施。 ・平成27年度「エコバスを考える」 ・平成28年度「除排雪を考える」 ・平成29年度「ごみについて考える」 ・平成30年度「安全安心なまちづくりの推進について」 ・令和元年度「みんなで地域防災」

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	生活改善要望は町内会には文書回答 回答報告書をHPにて周知
■市民から意見を募集する	市民の広場の開催
□市民と協議する	
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	地域からの要望を反映させながら、生活環境改善要望を推進している。市民の広場については、コロナ禍の影響により次年度に延期。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　市民生活課

事業名　安全で安心なまちづくりの推進

作成者名　須 貝 尚 文

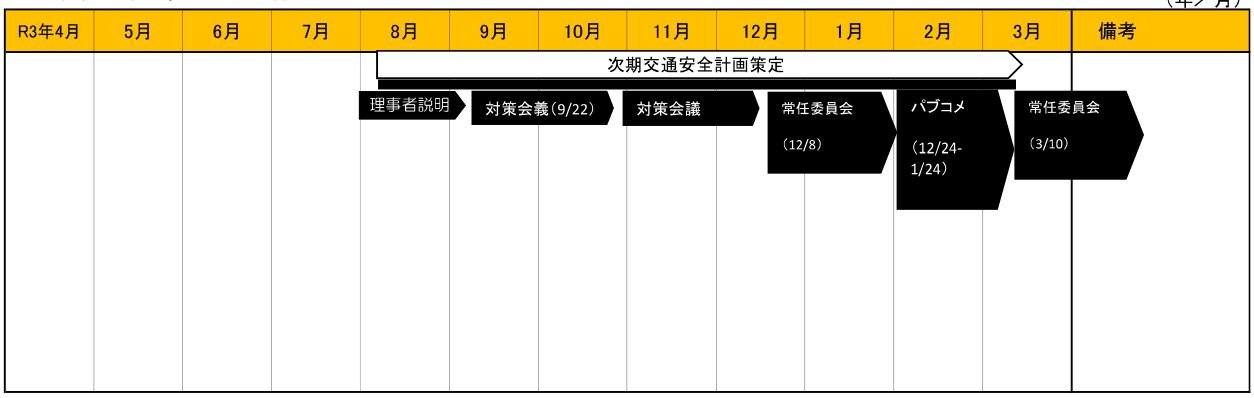
事業概要	地域における安全意識の高揚、自主活動の促進及び生活環境の整備を図り、市民が安全で安心して暮らせる地域社会を実現するための施策を推進する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・市HPへの掲載
■市民から意見を募集する	パブリックコメントの実施
■市民と協議する	有識者による交通安全対策協議会（2回実施）の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	計画策定事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	パブリックコメントの手法により、市民意見を反映させながら計画を策定している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　市民生活課

事業名　空家等対策の推進

作成者名　須 員 尚 文

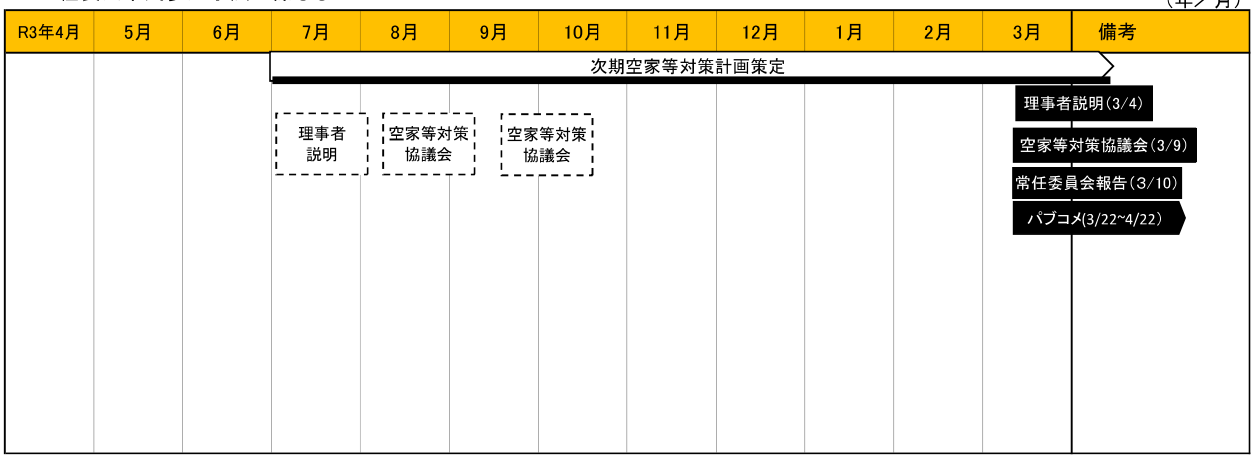
事業概要	全国的にも空家等が増加しており、当市においても今後空家等の増加が懸念されるため、空家発生の未然防止及び利活用に向け条例を制定し空家等対策計画に基づき、空家等に関する施策を実施し、地域の良好な住環境を維持し、快適に暮らせる安全で安心なまちづくりを推進する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・市HPへの掲載
■市民から意見を募集する	パブリックコメントの実施
■市民と協議する	空家等対策協議会による附属機関での協議
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	計画策定事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	パブリックコメントの手法により、市民意見を反映させながら計画を策定している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　　廃棄物管理課

事業名　ごみ処理手数料等改定の適正運用

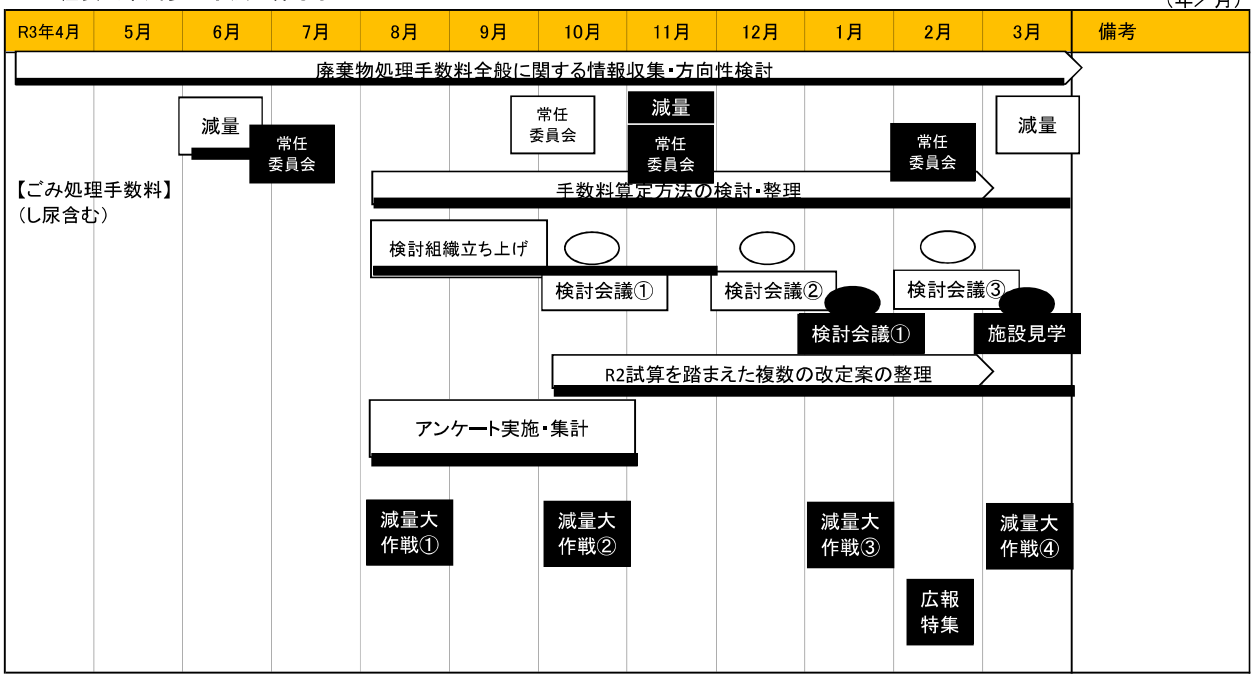
作成者名　　主査　中山　真

事業概要	R7年度以降のごみ処理手数料(し尿・浄化槽汚泥以外)について、R4年度に検討・算定することとしていることを踏まえ、R3年度中に料金算定の考え方を整理する。廃棄物減量等推進審議会への諮問案を検討するため、外部委員含む組織を立ち上げ、「手数料算定の方法(対象経費や考え方等)」や「資源物収集の有償化」などについて検討・整理した。 廃棄物減量等推進協議会答申にて「R2に改めて検証」との答申を受けていた「し尿処理手数料」について、R2は内部試算の実施に留まっていることから、R4年度に検討・算定できるよう、料金算定の考え方を整理する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報誌(2月) 市HPへの掲載(随時) 4回のごみ減量大作戦の発行(8月、10月、1月、3月)
■市民から意見を募集する	市民アンケートの実施(9月)
■市民と協議する	ごみ処理恵庭モデル検討会での検討(1月) 廃棄物減量等推進協議会での検討(6月・11月)
■市民の理解を深める	ごみ処理・リサイクル地区懇談会の開催(3月)
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの



令和3年度　所管課評価	予定したとおり市民参加を得ることができた。アンケートについては、工夫を凝らし回答率が想定を上回る50%超の回答率となるなど、市民意見を活用したごみ処理のあり方を検討していくことが可能。
後年次(令和4年度)評価 (行革専門部会)	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月9日作成

担当部課名：生活環境部環境課

事業名　第3次恵庭市環境基本計画（兼区域施策編）の策定

作成者名：尾張

事業概要	恵庭市環境基本条例に基づき、市の環境政策に係る総合的な計画である「環境基本計画」を策定するもの。なお、温対法に基づく地球温暖化対策実行計画（区域施策編）も統合して一体的に整備する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	環境審議会の会議内容のホームページ公開
■市民から意見を募集する	・市民アンケート実施 ・計画素案に対するパブリックコメント募集予定。（R4.4）
■市民と協議する	・環境審議会（市民公募委員含む）での計画内容の協議
■市民の理解を深める	・市民向けにわかりやすく要約した「概要版」を公表予定 ・出前講座を3回実施
□市民と行動する	

事業区分	計画策定事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）

令和3年度　所管課評価	環境審議会への諮問や市民アンケート等により、市民意見を反映させながら計画策定を進めている。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4　年 3　月 23 日作成

担当部課名　　保健福祉部健康スポーツ課

事業名　通年型屋外スポーツ施設の整備

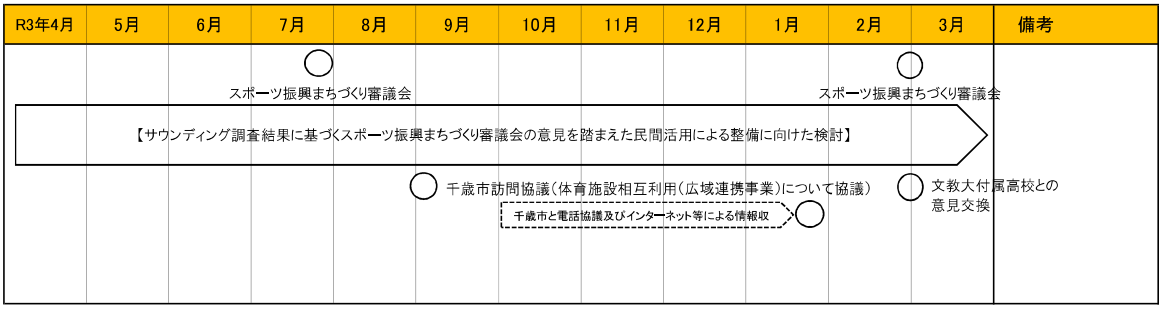
作成者名　　安達　智夫

事業概要	恵庭市第5期総合計画の後期計画の第3次実施計画及び、運動・スポーツ推進計画の「運動やスポーツを楽しむ環境づくり」に位置付けし、年間を通じて多様な運動・スポーツ等ができる施設整備に向けて取り進める。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市HPへの掲載（スポーツ振興まちづくり審議会会議録等）
■市民から意見を募集する	令和2年度に市民アンケートの実施。その結果を基に検討。
■市民と協議する	スポーツ振興まちづくり審議会の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ハード事業
市民参加度区分	I

■ 工程表※市民参加手法に係るもの



令和3年度　所管課評価	恵庭市運動・スポーツ推進計画の中間見直しを行うため、令和2年度に市民アンケートを実施した。そのアンケート結果やまちづくり審議会のご意見をいただきながら、あらためて検討を行うことが出来た。また広域連携について千歳市と協議を行うなど新たな取り組みを行った。 『④市民の理解を深める』手法の未実施について 【理由】 サウンディング調査結果を基にスポーツ振興まちづくり審議会において審議を重ねてきたが、時間をかけて検討していくほうが望ましいとの判断から、住民説明会等の開催は未実施。また、コロナ禍もあり民間事業者との協議も難しい面もあった。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	時代の変化によりニーズが変容していることから、審議会の検討事項を踏まえて、施設整備の今後の方向性が具体化したら、適切な市民参加手法を取り入れて欲しい。

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4　年 3　月 23 日作成

担当部課名　　保健福祉部健康スポーツ課

事業名　屋内・屋外体育施設の整備充実

作成者名　　安達　智夫

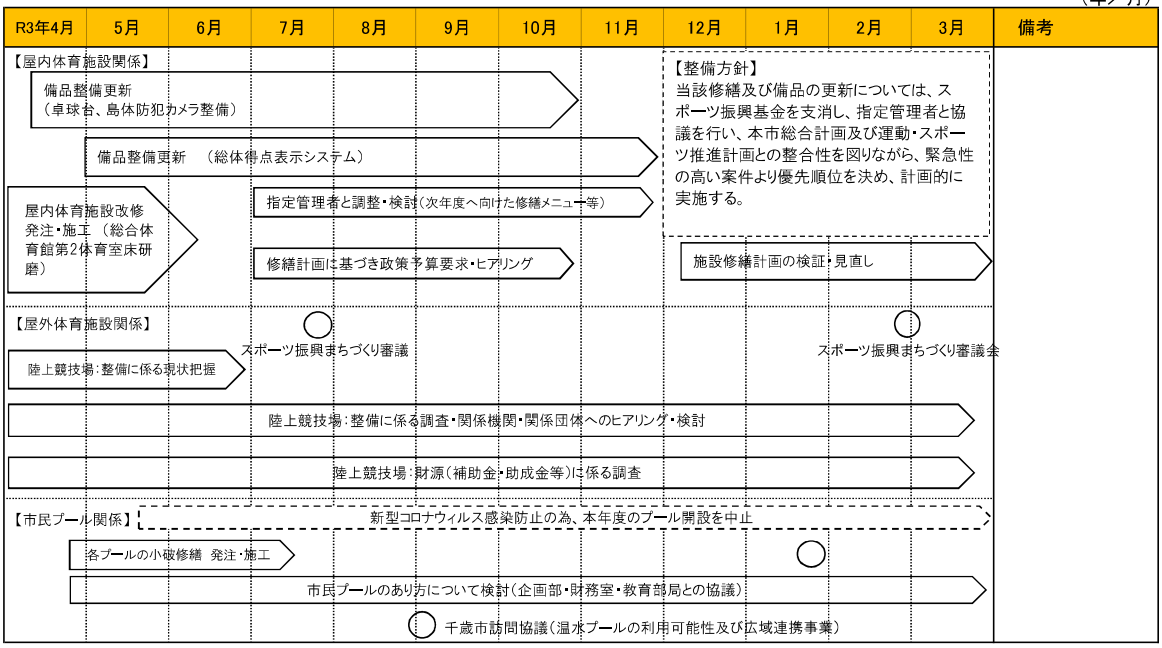
事業概要	体育施設については、全ての施設で老朽化が進んでおり、施設の安全な利用を確保するため、計画的に維持補修を行う必要がある。また、備品類についても老朽化の著しい器具等を更新し、安全に使用できる環境を確保する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市ホームページへの掲載（審議会会議録等）
■市民から意見を募集する	競技団体からの聞き取り等
■市民と協議する	スポーツ振興まちづくり審議会の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ハード事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	関係競技団体、まちづくり審議会からの意見を伺いながら、屋内外体育施設の整備及び検討を行った。今後も恵庭市運動・スポーツ推進計画の中間見直しに関し実施した市民アンケートやまちづくり審議会のご意見を踏まえ事業推進を図っていきたい。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4　年 3　月 23 日作成

担当部課名　　保健福祉部健康スポーツ課

事業名　歩くことを通したまちづくり事業

作成者名　　安達　智夫

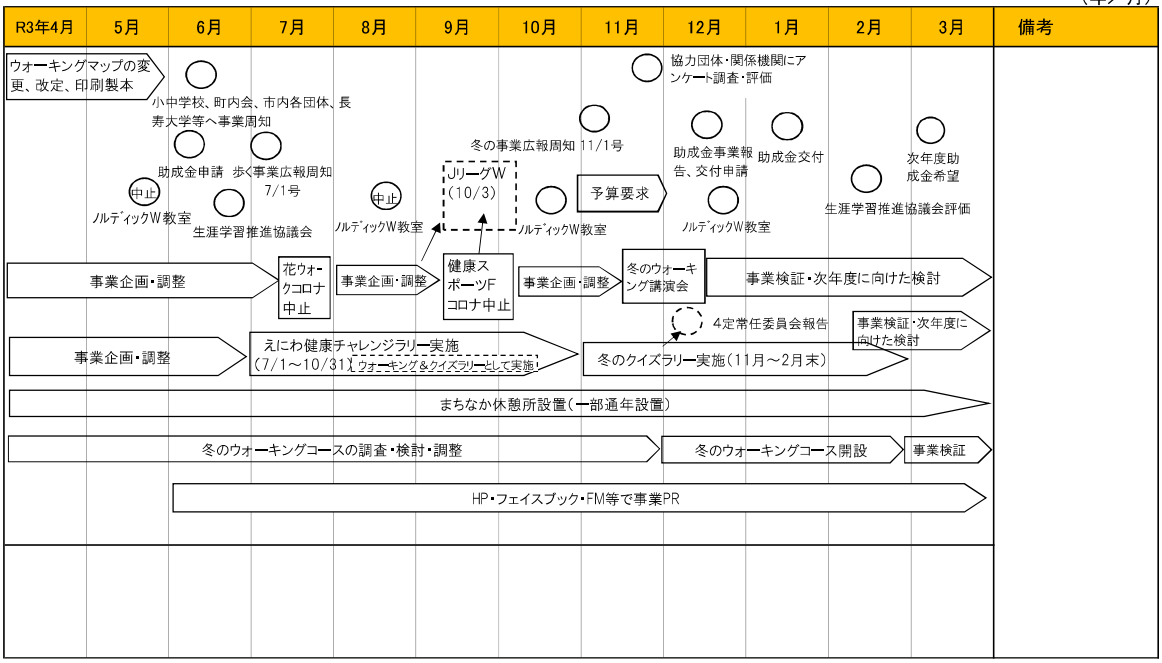
事業概要	○歩くことに関連したイベント等をはじめとした仕掛けや仕組みにより、市民の健康への関心と参加を促し、健康づくりを推進するまちづくりにつなげる。 ・歩くイベント開催 ・まちなか休憩所増設（一部通年実施） ・えにわ健康チャレンジラリーの実施 ・Jリーグウォーキング ・冬のウォーキングセミナー開催 ・冬の歩くコース設置

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・市HPへの掲載 まちなか休憩所設置による市民へのPR
■市民から意見を募集する	アンケートの実施（ウォーキングラリーシート、まちなか休憩所などに設置）
■市民と協議する	歩く団体（楽々歩こう会、えにわフットパス愛好会、恵庭歩く人達の会）等との意見交換
■市民の理解を深める	事業実施後、検証を行い市HPで公開する
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	市広報・HPなど各種媒体を通じ事業全体を市民に伝え事業を行った。また、多くの市民に参加していただくためJリーグウォーキングなど新たな試みも行い、歩くことを通したまちづくり事業の普及啓発を図った。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月24日作成

担当部課名　子ども未来部　子ども家庭課

事業名　黄金ふれあいセンター指定管理者制度導入事業

作成者名　主査　大林　泰子

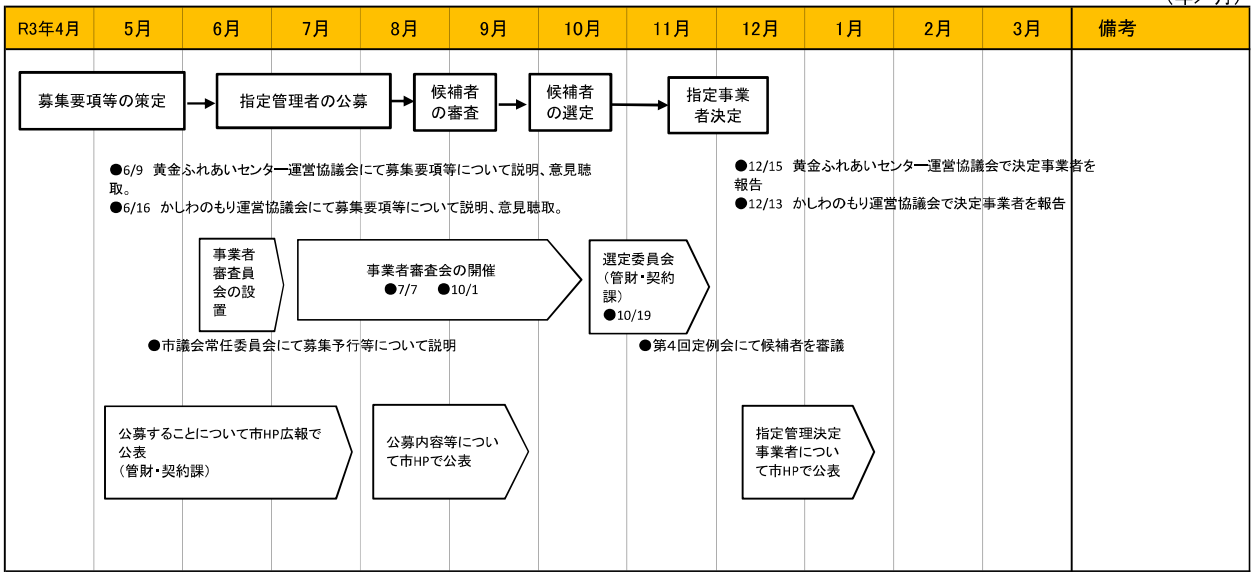
事業概要	黄金ふれあいセンターの管理運営について、民間の活力を取り入れ市民サービスの向上を図るため、令和4年度から指定管理者制度を導入。 指定管理者制度導入に併せて、黄金ふれあいセンターで実施する「学童クラブ」「子どもひろば」「子育て支援センター」の事業の在り方について、検討を実施し、さらに、教育部が所管する「生涯学習施設かしわのもり」と一体的に指定管理者制度が導入できるようよう、教育部と連携して進めた。 指定管理者の募集要項等については「黄金ふれあいセンター運営協議会」「かしわのもり運営協議会」にて協議をしていただき、さらに、応募者の審査では「黄金ふれあいセンター」「かしわのもり運営協議会」の代表等による審査会を設置し、市民参加のもと、事業を実施した。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・市HPへの掲載 指定管理事業者の公募
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	黄金ふれあいセンター運営協議会の開催 指定管理者設置に伴う事業者審査委員会の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	黄金ふれあいセンター運営協議会及び指定管理者審査委員会にて、市民の意見を反映させながら指定管理者制度の導入ができた。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　3月　22日作成

担当部課名　商工労働課

事業名　産業連携推進事業

作成者名　新藤　直貴

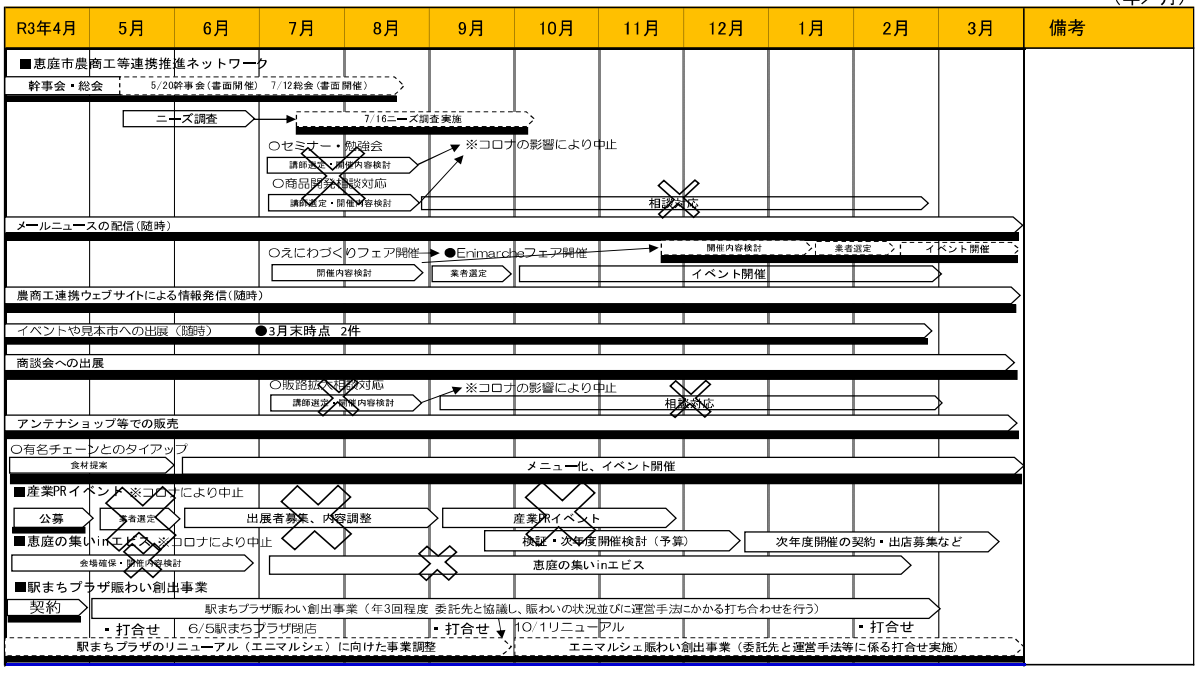
事業概要	
	■恵庭市農商工等連携推進ネットワーク事務局運営 各種事業を行うほか、広くPR・情報発信を行い、事業者連携による新商品開発や販路開拓などの取り組みを支援する。 ■産業PRイベント開催 産業PRイベントを開催し、市内産業や農商工連携の取り組み、企業の技術や商品等を広く紹介し、地域経済活性化につなげる。 ■恵庭の集いinエビス 恵庭にゆかりある人たちとの交流を通じて、ふるさと納税や移住促進、観光PRといった様々な場面で恵庭を応援していただくことで、恵庭市内の経済振興につなげることを目的に実施する。 ■駅まちプラザ賑わい創出事業 市内企業や恵庭市農商工等連携推進ネットワークで作成した商品等の物販を行うアンテナショップを設置することでの恵庭市の魅力を発信し、ついては駅前の賑わいを創出する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	恵庭市農商工等連携推進ネットワークの取組みについて、専用のHPに掲載している。また、同ネットワーク事業への参加について市内事業者へ広く募集するほか、イベント内容について各媒体（市公報・市HP・市FB・ちゃんと等）により周知している。
■市民から意見を募集する	恵庭市農商工等連携推進ネットワークの会議等で運営方法等について意見を聴取するほか、会員である市内の事業者に対しアンケート調査を行い、本ネットワークの取組みに対する意見や要望等を聞いている。
■市民と協議する	恵庭市農商工等連携推進ネットワークの会議等で運営方法等について意見を聴取するほか、会員である市内の事業者に対しアンケート調査を行い、本ネットワークの取組みに対する意見や要望等を聞いている。
■市民の理解を深める	・産業祭はコロナの影響により中止 ・市内事業者による製品や市内の農商工連携による開発商品をPRし市民の理解を深めるため、アンテナショップ「Enimarche」にてEnimarchフェアを開催。また、専用HPにて取組内容について報告した。
■市民と行動する	新商品開発等において、恵庭市農商工等連携推進ネットワークの事務局として、市内事業者の主体的な取組みを支援している。

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	総会やアンケート調査の実施により市民意見を反映させながら農商工連携の取組みを行った。また、フェア開催により市民への認知度や理解を深めるほか、取組内容について専用HPやSNS等を通じて広く周知した。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　3月　22日作成

担当部課名　商工労働課

事業名　産業連携推進事業（都市間交流）

作成者名　新藤　直貴

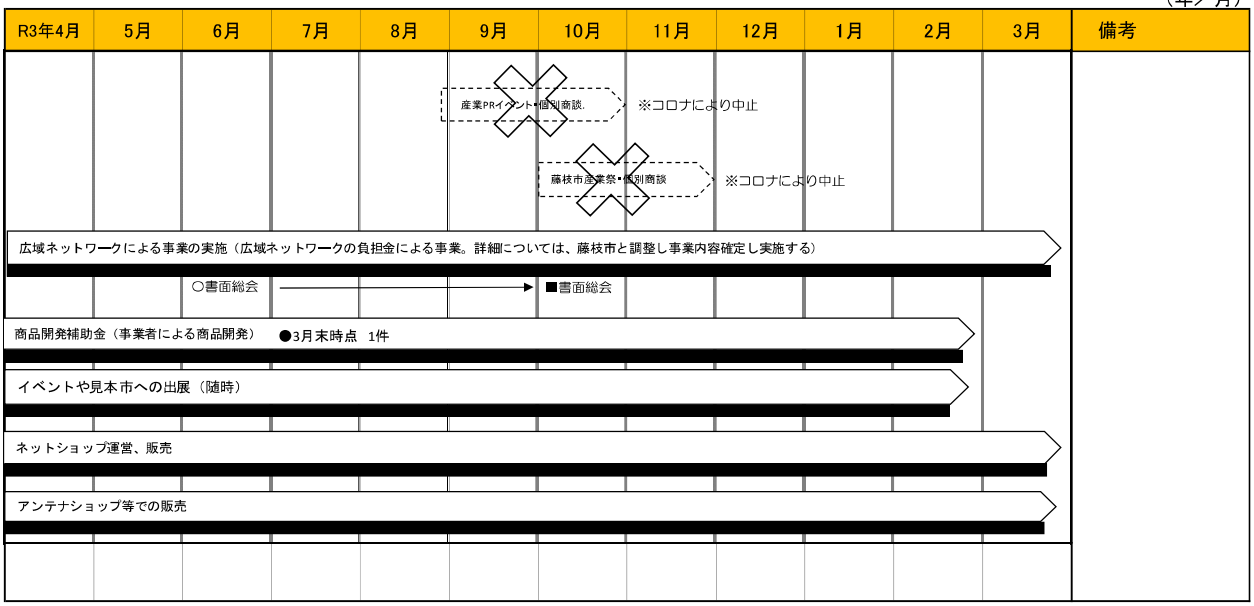
事業概要	■都市間交流 友好都市である静岡県・藤枝市とは、両市の産業イベントにおいて、行政ブースを出展するなどの交流を行ってきた。 更なる交流や連携を図るため、H29年に両市の構成員による藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークを立ち上げ、これまで両市の特産品や企業のマッチング商談会の開催、連携商品ロゴの作成、商品開発補助金創設、ネットショップ・アンテナショップの開設、イベント出展等を行った。 R3年度は、これまでの商談会等による両市の事業者間の繋がりを活かした商品開発を支援し、ネットショップやアンテナショップでの販売等を行い、両市の連携による地域経済の活性化につなげる。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市HPにより商品開発補助金の制度について周知。
□市民から意見を募集する	
□市民と協議する	
■市民の理解を深める	ネットショップやアンテナショップにおいて両市の連携商品の販売を行った。
■市民と行動する	補助金を活用した新商品開発において、開発事業者と1次産品の提供事業者とをマッチングさせるなど市内事業者の主体的な取組みを支援している。

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	市内事業者の商品開発において、藤枝市内で1次産品を提供できる事業者を紹介・斡旋するなどし、両市の産業連携による取組みを支援した。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和 4年　 3月　 24日作成

担当部課名　　花と緑・観光課

事業名　観光推進計画の推進

作成者名　　谷口　寛典

事業概要	第2期観光振興計画（平成28年度～令和7年度）が策定され推進管理を行っている。令和2年度中に観光推進協議会に諮り、花の拠点（はなふる）の活用など必要に応じた見直しを行った。令和3年から後期期間となる.。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市ホームページ、広報誌で周知
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	恵庭市観光推進協議会で協議
■市民の理解を深める	恵庭市観光推進協議会で協議
■市民と行動する	恵庭市観光推進協議会で協議

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）

R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
			協議会提示資料の作成		予算要求	観光推進協議会 (10/20)						

令和3年度　所管課評価	観光推進協議会で市民と協議することにより、市民意見を反映させながら観光施策を推進している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和 4年　3月　24日作成

担当部課名　花と緑▪観光課

事業名　観光推進事業

作成者名　谷口　寛典

事業概要	地方創生推進交付金「対恵庭観光▪投資拡大推進事業」（商工労働課）、千歳▪恵庭▪北広島広域観光推進協議会関連事業、石狩振興局「ようこそ石狩誘客促進事業」（石狩振興局）、さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会連携事業において、広域連携を強化するとともに、観光資源の磨き上げに努め、当市の認知拡大につなげる。 国内（道内外）へは、コロナ禍においてはWEBサイトなどを活用し、また機会をとらえて観光客と対面でプロモーションを行う。 海外へはこれまで関係を築いてきた台湾旅行会社への情報発信と、web▪SNS広告を活用し、認知度を向上させ、アフターコロナに向けて持続的な交流人口の拡大を目指す。

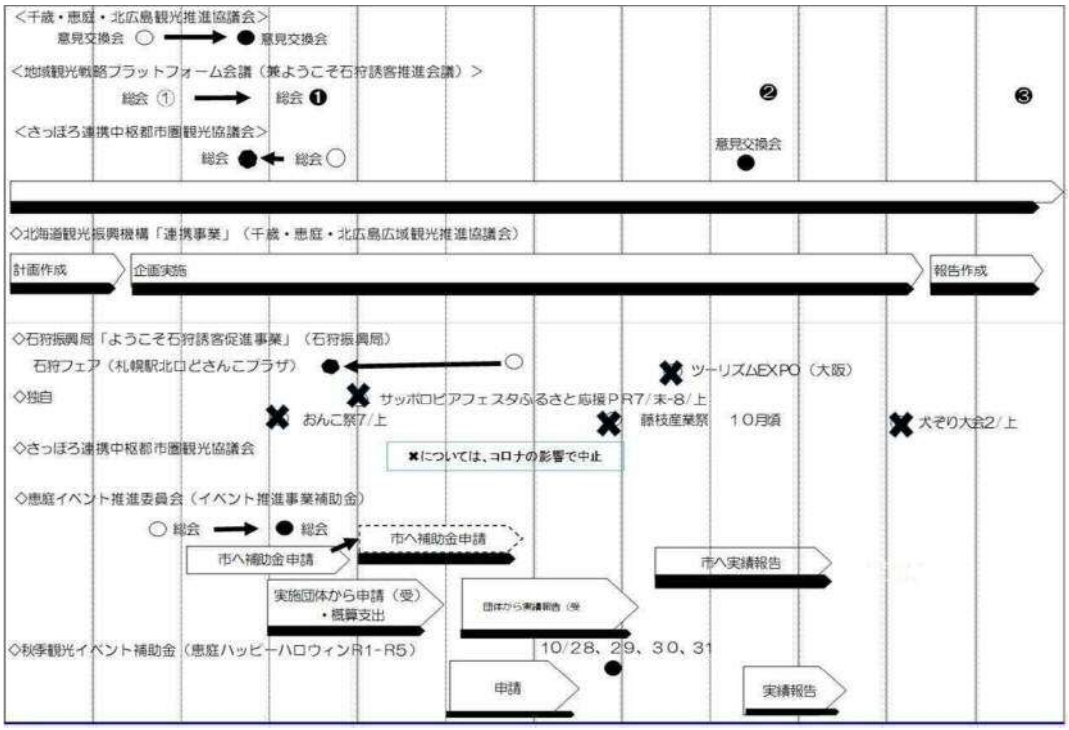
市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市ホームページ、広報誌、専用サイトで周知
□市民から意見を募集する	
□市民と協議する	
□市民と行動する	
□市民の理解を深める	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）

○年○月	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考



令和3年度　所管課評価	行政がやらなければならない必要課題、市民が求めている要求課題には乖離が生じるため、市民からの意見や要望など観光振興に向けた効果的なPRや施策を展開することが難しい。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　　3月　　24日作成

担当部課名　　花と緑・観光課

事業名　観光推進事業

作成者名　　谷口　寛典

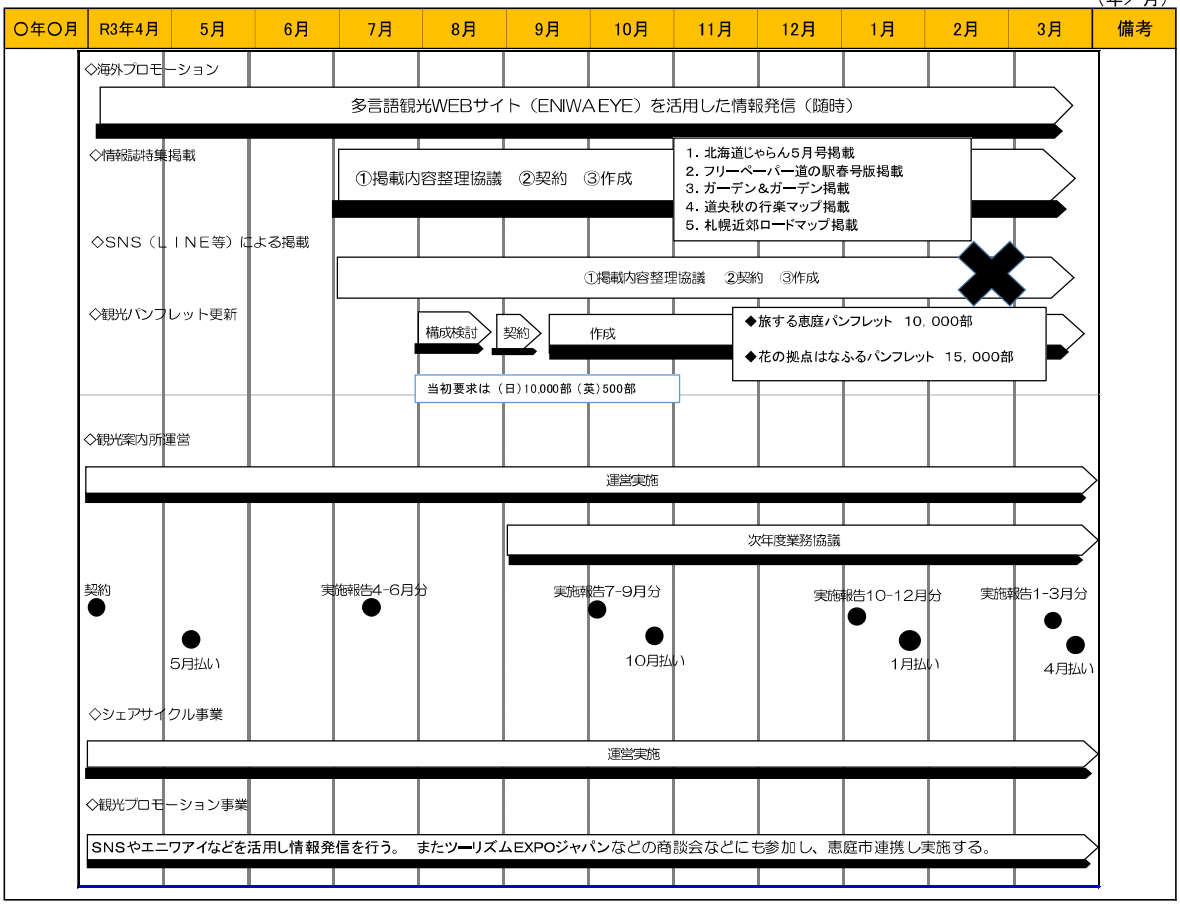
事業概要	■第2期観光振興計画に基づき、プロモーション活動を実施する。 コロナ禍においての海外プロモーションについては、エニワアイなどを活用し、アフターコロナに向けて情報発信を中心として行い、国内（道内外）へは、緑化フェアや花の拠点（はなふる）のPRを中心とした情報発信を様々な情報誌などを活用し、PR活動を行う。 また、R2年度作成した観光パンフレットについて、ガーデンエリアの写真の入れ替えなど一部更新を行う。 ■観光協会運営 花の拠点センターハウスに移り、センターハウス内で観光案内所運営を行う。恵庭遊マップ・恵み野花マップの制作、観光プロモーション、レンタサイクル事業の他、R2年度から花と緑・観光課が行う観光推進事業への企画体制に加わる。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市ホームページ、広報誌、専用サイトで周知
□市民から意見を募集する	
□市民と協議する	
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	市民からの意見や要望などを反映するような仕組みづくりを、観光案内所やパンフレットなどの観光施策に効果的に盛り込むことが困難であった。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　 3月　 24日作成

担当部課名　　花と緑▪観光課

事業名　市民参加型▪えにわ版マルシェ推進事業

作成者名　　谷口　寛典

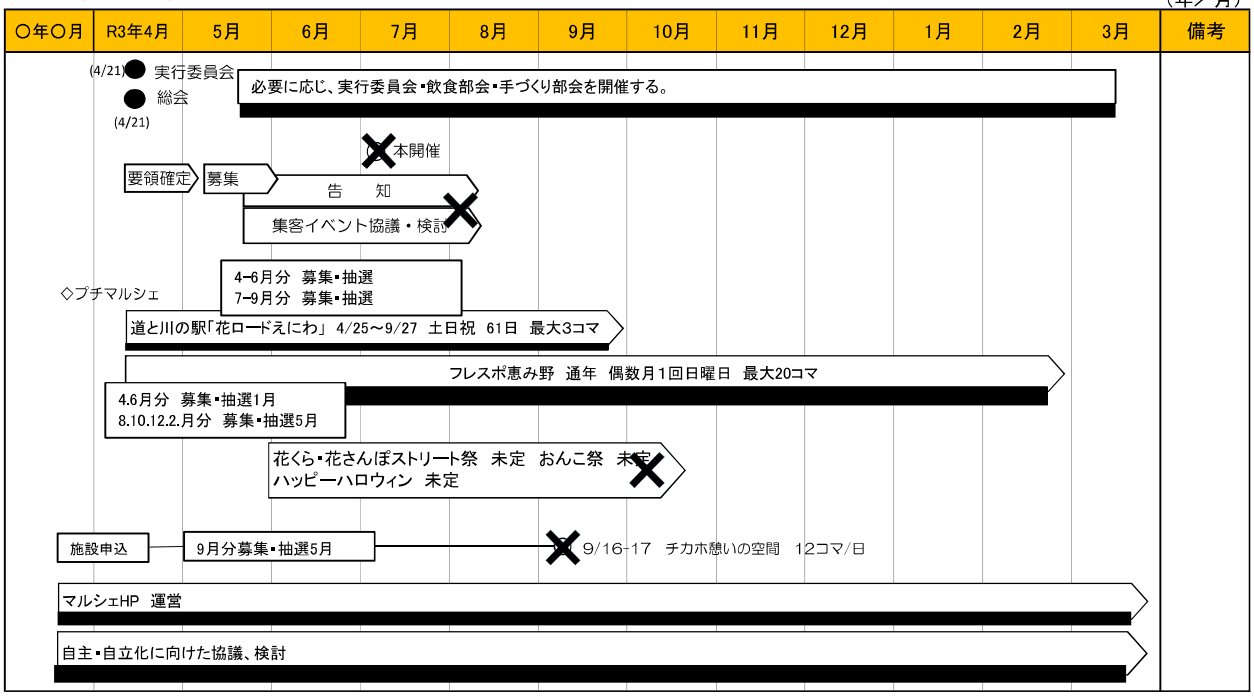
事業概要	えにわマルシェの目的を「市民のためのつなげるマルシェ」とし、市民同士がつながり、新たな交流が生まれる場として開催していくとともに、継続的に実施し地域振興につなげていく。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市ホームページ、市広報誌、マルシェ専用ウエブページへの掲載
■市民から意見を募集する	えにわマルシェ実行委員会で協議
■市民と協議する	えにわマルシェ実行委員会で協議
■市民の理解を深める	えにわマルシェ実行委員会で協議
■市民と行動する	えにわマルシェ実行委員会で協議、実施。

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	マルシェに登録している市民と実行委員会を組織し、行政と協働でイベントを実施している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和 4年　3月　24日作成

担当部課名　花と緑・観光課

事業名　花のまちづくり推進事業

作成者名　竹内 利樹

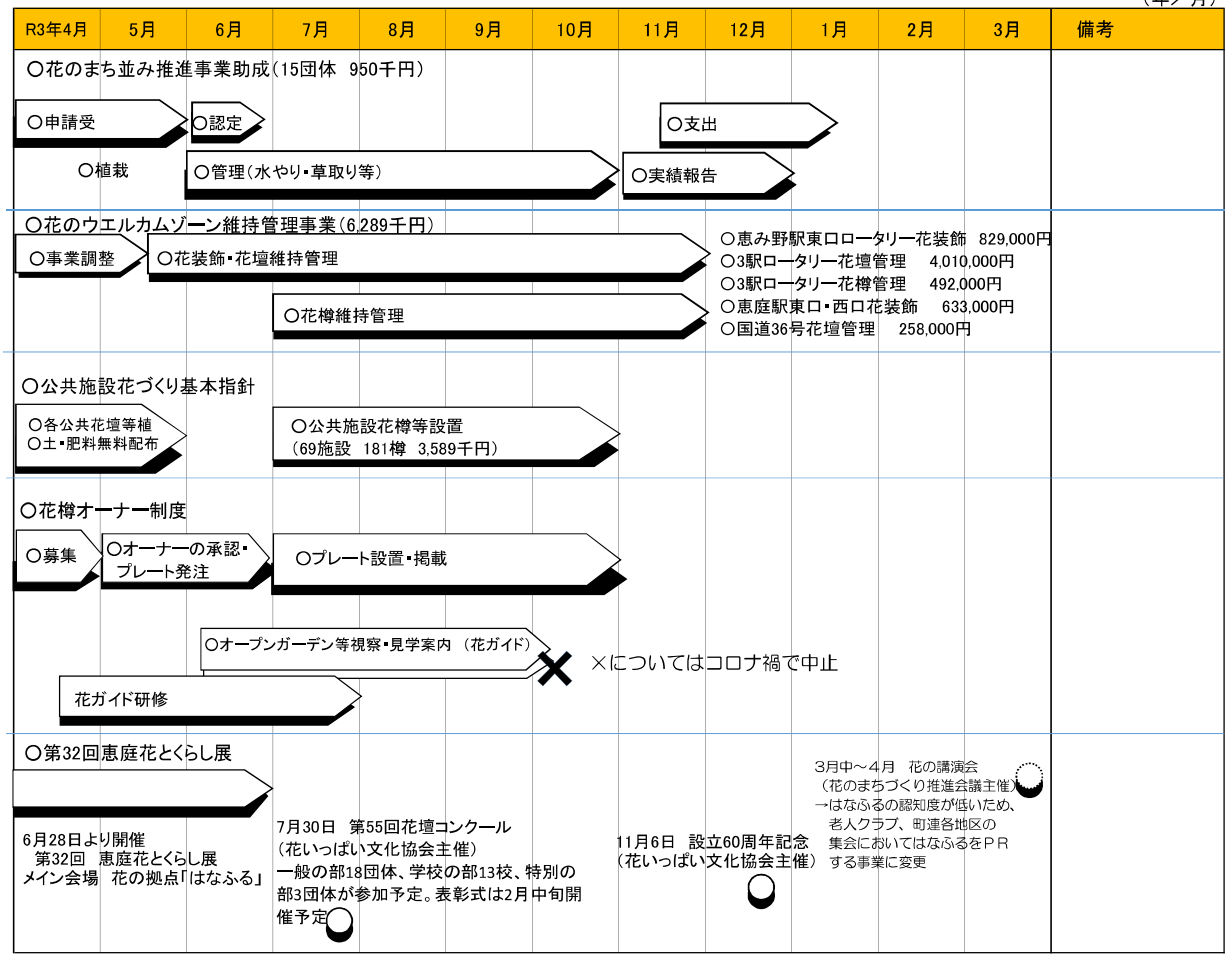
事業概要	第2期「観光振興計画」第5期総合計画、えにわ花のまちづくりプランに基づいて、市民主体の花のまちづくりの拡大策を検討すると共に、行政内部においても、花のまちづくりに対する各種取組を企画振興部と協議の上、進めていく。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報誌・市HP・情報誌「ちゃんと」への掲載
■市民から意見を募集する	花のまちづくり推進会議、花いっぱい文化協会等の会議を開催し、各種要望等の把握
■市民と協議する	フラワーマスター協議会の会議開催
■市民の理解を深める	はなふる等のガーデンツアー実施
■市民と行動する	駅前広場等の植栽、花とくらし展開催等

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	I

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	花のまちづくり推進会議、花いっぱい文化協会等と協議することにより、市民意見を反映させながら花のまちづくり施策を推進している。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月22日作成

担当部課名　全国都市緑化北海道フェア推進室

事業名　第39回全国都市緑化北海道フェア（ガーデンフェスタ北海道

作成者名　上山　謙太郎

事業概要	全国都市緑化フェアは、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的としています。 〇時期: 令和4年6月25日（土）～7月24日（日） 〇メイン会場:花の拠点（はなふる）その他、協賛会場・スポット会場として北海道内の施設と連携予定。 〇主催:恵庭市、北海道及び公益財団法人都市緑化機構 〇令和4年夏の開催にあたり、令和3年度は実施に係る計画を策定し、フェア開催のための基盤整備や運営委託を行います。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報誌、市ホームページ、市公式フェイスブックへの掲載 緑化フェアサポーターズクラブメンバーの募集
■市民から意見を募集する	緑化フェアサポーターズクラブワークショップの実施
■市民と協議する	緑化フェアサポーターズクラブワークショップの実施
■市民の理解を深める	緑化フェアサポーターズクラブワークショップの実施 地元町内会への説明会の実施 市内向けPR事業の実施
■市民と行動する	緑化フェアサポーターズクラブ事業を実施する 会場運営ボランティアを募集する

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	I

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）

R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
					別添工程表のとおり							

令和3年度　所管課評価	サポーターズクラブの取り組みを推進するほか、町内会への説明会の実施や、市内向けPR事業の実施、本番の会場運営ボランティアの募集など、市民参加に取り組んでいます。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月／R4／R5
緑化1	【概要】 都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与するために実施する「全国都市緑化北海道フェア」を令和4年度に恵庭市で開催する。 市議会		次長 主幹	4/16臨時会 5/21臨時会 2定例 3定例 4定例 1定例 4/21常任委員会（報告事項なし） 6/23常任委員会（サポーターズクラブ）（町内会説明）（実行委員会・実施計画） 8/3常任委員会（プレイベント）（サポーターズクラブ）（広報宣伝） 10/7常任委員会（サポーターズクラブ）（広報宣伝） 12/9常任委員会（補正予算）市内周知、債務負（プレイベント）（サポーターズクラブ）（広報宣伝） 2/2常任委員会（プレイベント）（サポーターズクラブ）（広報宣伝）（コロナ方針） 3/11常任委員会（総会）（サポーターズクラブ）（広報宣伝） 随時報告
	議会（北海道）			
	【質問要旨】 ①花のまちづくり活動を次世代へ引き継ぐ人材育成について ②都市緑化フェアの想定来場者について ③都市緑化フェアを一過性ではなく後々に波及効果のあるものとすべき	R２年２定 一般質問	澁谷議員	【回答要旨】 ①将来を担う子ども達や市内関係機関など、多くの方々に関わっていただきたい。サポーターズクラブなど機運醸成に努める。 ②目標入場者数は基本計画で検討。市内及び市外の分けもその中で想定する。 ③（花の拠点と）緑化フェアはこれまでの花のまちづくりの集大成と考える。メイン会場は市民に長く愛される場所としたい。フェアの効果として知名度向上や経済波及効果などが考えられる。
	【質問要旨】 ①恵庭市で緑化フェアを招致したねらい ②基本計画策定の進捗状況 ③開催に向けた組織・体制について ④課題について	R２年３定 一般質問	宮議員	【回答要旨】 ①（花の拠点と）緑化フェアはこれまでの花のまちづくりの集大成と考える。花のまちづくりが次世代に引き継がれることも期待する。フェアは総合戦略に位置付けられており、認知度向上、関係人口拡大、経済波及効果拡大をねらいとしている。 ②会場、展示出展、観客誘致広報宣伝、行催事、会場運営、交通輸送、協働推進人材育成などの個別計画を定める。概算事業費は精査中。 ③主催者及び関係機関等で構成する実行委員会を組織する。サポーターズクラブなど市民意見を取り入れる仕組み。 ④準備期間が短い中で、多くの個別企画をまとめ実行委員会を設置しながら進めなければならないタイトなスケジュール。来場者の交通輸送や駐車場確保なども大きな課題。地域へ説明しながらしっかり進めていく。
	【質問要旨】 ①都市緑化フェアを通じたまちづくりの人材育成について	R２年３定 決算代表	新岡議員	【回答要旨】 ①基本方針に「花のまちづくりを次世代に継承するフェア」としている。サポーターズクラブでは。イベントの企画検討、ボランティア参加などの活動へつなげていく。
	【質問要旨】 ①想定来場者数と経済効果について ②令和３年度の工事について ③花の拠点オープンと合わせ、フェアの意気込み	R２年４定 一般質問	前田議員	【回答要旨】 ①期間中の想定来場者数は約３０万人。経済効果は、フェア終了後に推計 ②園路、通路、看板、花壇、修景施設、電気・給水工事の他、臨時駐車場整備など ③市民主導で進めてきた花のまちづくりの集大成。全道・全国へ発信するチャンスであり、周辺自治体や民間企業とも連携を深める。
	【質問要旨】 ①事業費と来場者数 ②観光振興の位置づけ ③交通対策、安全対策について ④周辺自治体との連携	R２年４定 一般質問	野沢議員	【回答要旨】 ①事業費概ね７億円、想定来場者数は約３０万人。 ②恵庭市総合連絡の位置づけ。恵庭市観光振興計画にも追加 ③交通機関別来場者数を想定し、自家用車による来場者に相応する駐車場配置を検討。交通誘導等の対策について関係機関と今後協議。 ④連絡協議会でも協議
	【質問要旨】 ①ふるさと納税寄附の活用について	R２年４定 一般質問	宮議員	【回答要旨】 ①企業版ふるさと納税は、多様な主体が連携する主旨に合うもので、貴重な財源となる。積極的にＰＲしたい
	【質問要旨】 ①地域住民への説明について	R３年１定 予特代表	武藤委員	【回答要旨】 ①3/18日に実施予定
	【質問要旨】 ①北海道フェアのＰＲについて ②交通対策について ③協賛会場との周遊の仕組みについて	R３年２定 一般質問	宮議員	【回答要旨】 ①はなふるセンターハウス観光ＰＲコーナーでの動画配信を可能ならば調整し実施したい ②可能な限り降雨渋滞の緩和を図りたい ③本年度モデルツアーを実施し課題整理し、フェア本番で実施できるよう検討する
	【質問要旨】 ①コロナ禍におけるイベントの実施について ②実施に係る判断主体について ③実施に係る判断時期について	R３年３定 一般質問	早坂議員	【回答要旨】 ①緊急事態宣言、まん延防止等措置においてもオンラインは有効な手段と認識している ②北海道、恵庭市が主体となり、問緑化機構、国土交通省にも相談しながら決定する ③開催半年前に一度判断し、３カ月前、１か月前のも判断する
	【質問要旨】 ①飲食の出店について	R３年３定 一般質問	岩井議員	【回答要旨】 ①想定来場者数から既存店舗の飲食提供数を差し引き、必要な食事数・飲食販売車数を算出。はなふる駐車場ではスペースがあり、テント持参ならここでの出店も可能。必要な飲食数を確保したい。

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ／ R4 ／ R5
	【質問要旨】 ①広報周知について ②会場周辺の交通安全と南島松駐車場からの整備について	R３年４定 一般質問	宮議員	**【回答要旨】** ①市内に特化したＰＲを行うとともに、市内商工会議所とも連携しフェアを盛り上げる。 ②幼稚園・保育園・小中学校と通じた交通安全発を行う。クイズなどの看板設置等飽きさせない取組を行う。
	【質問要旨】 ①集客のターゲット層について	R３年４定 一般質問	川原議員	**【回答要旨】** ①60代のシニア層のほか、40代、50代の女性をメインターゲットとしている。
	【質問要旨】 ①ガーデンフェスタ北海道におけるふるさと納税のＰＲ ②ガーデンフェスタ北海道における国際交流都市との連携	Ｒ４年１定 一般質問	川原議員	**【回答要旨】** ①ふるさと納税をＰＲするとともに、メイン会場内において飲食や購入できるよう検討する。 ②ティマル市との連携内容を、会場内でどのように周知できるか検討する。
緑化2	実行委員会		総務・広報	開催準備（日程・会場・案内・議案）／6/18第2回総会／決算調製／4/22決算監査依頼／R2事業報告・決算 実施計画案案 R3事業計画・予算／書面開催／4/22web開催検討（インサイト）／WEB開催（について検討）／開催準備（日程・会場・案内・議案）／2/9第3回総会／第3回実行委員会／R3補正予算 R4事業計画・予算／R5.2解散
緑化2.1	（北海道との打合せ）		総務・広報	4/5知事日程依頼／4/7道課長等現地確認／4/9道局長現地確認／4/19打合せ／5/17開催方法確認／4/27主催者・事業者全体会議（各個別計画共通）／5/18主催者・事業者全体会議（各個別計画共通）／7/1道、市打合せ／7/14道、市打合せ／8/11道、市打合せ／8/16道、市打合せ／8/17主催者・事業者全体会議（各個別計画共通）／8/30都市緑化機構打合せ（現地）／9/1道建設部長はなふる視察／9/9道、市打合せ／10/21道、市打合せ／10/29主催者・事業者全体会議（各個別計画共通）／12/22道、市打合せ／12/24主催者・事業者全体会議（各個別計画共通）／3/24主催者・事業者全体会議（書面・各個別計画共通）
緑化2.2	イメージキャラクター キュンちゃんガーデンフェスタ．ｖｅｒ		総務・広報	イメージキャラクターデザイン募集／製作／4/7審査委員／4/28デザインヒアリング／6/26１年前イベントで発表／発表（PRイベント）／活用

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3（4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月）／R4／R5
緑化3	会場計画		整備・運営	会場実施設計 発注準備 施工（基盤整備） その1（12/16完成） 施工（基盤整備） その2（11/30完成） 施工（基盤整備） その3（3/31完成） 4/8ドーコン打合せ／5/24ドーコン・GD打合／4/9管理課（公園）打合せ／6/30TSP打合せ（現地）／4/15TSP打合せ(WEB)／7/26TSP打合せ（現地）／4/20～21TSP・ドーコン現地打合せ／9/15ドーコン・TSP打合せ（WEB） R4：4～6月 会場整備・植栽／7～8月 撤去
緑化3.1	理事者検討指示項目 （子どもの遊具）		整備・運営	遊具設置協議（日本公園施設業協会） 配置平面図作成 4/16公園施設業協会打合せ／6/7公園施設業協会打合せ／公園施設業協会遊具等協賛決定 河川管理者協議（河川占用手続き） R4：1～6月 設置／3月 撤去
緑化3.2	理事者検討指示項目 （周辺道路の花装飾・道路補修）		整備・運営	周辺道路環境整備（開発局道路事務所・道建設管理部） 恵庭市関係部署全体会議 市道環境整備 関係機関協議・関係課協 5/21協議（千歳道路事務 4/13開発局千歳道路事務所あいさつ／7/19市建設部打合せ 4/20道建設管理部／6/2事業説明（千歳道路事務所） 4/20土木課打合せ（道路補修等） 恵庭市令和4年度 予算措置 R4：4月～6月 市道道路維持管理
緑化3.3	理事者検討指示項目 （キカラシ植栽）		整備・運営	南島松農地の花植栽　検討 8/17農政課打合せ 地権者・耕作者意向確 事業費・事業内容・手法等を整理し説明 意 9/13~各戸手法確認・協力依頼 事業実施はR4 R4実行委員会予算確保 R4：4月 契約（各戸）／5月 耕起・播種／6～7月フェア期間／8月 鋤取り（完了）

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ／ R4 ／ R5
緑化4	植物調達計画 （協議会関係）		整備・運営	植物調達協議会（4～3月） 植物調達実施計画（4～5月） 実施要領・審査要綱作成（6～3月） 調達監理（植物調達・施工・維持管理・植物撤去に関する全体調整及び監 4/6花苗生産組合打合せ 4/12ｻﾝｶﾞｰﾃﾞﾝ打合せ 6/9第1回植物調達会議 7/16 現地視察 /4第2回植物調達会議 8/24関係者打合 11/1 12/16 植物調達協議会 2/4第4回植物調達会議 生産・調達準備・納品・バックヤード管理調整（3月） R4：4～6月 生産・調達、植栽 ／ 6～7月 維持管理 ／ 8月 撤去
緑化5	植物調達計画 （自治体出展・学校出展関係）		整備・運営	学校出展コンテナ設計・使用植物決定（4～12月） 11/30 植物調達委託発注 自治体出展使用植物注文（4～10月） 使用植物調整（リスト作成し調整）（4～3月） 生産・調達準備・納品（7～3月） R4：4～6月 施工、出展・植栽 ／ 8月 撤去･撤収
緑化6	展示・出展計画 （屋外展示）		行催事・協働	実施計画策定（4～7月） 屋外展示実施設計 →会場整備と一体（7～10月） パネル展示詳細・運営方法の検討（10～3月） 5/14GD打合 5/24GD打合 6/8GD打合せ 6/28GD打合せ 秋植え（たねダンゴ）（10～12月） （7つのガーデン）紹介方法の検討（12～3月） 出展基盤整備 →会場整備と一体（8～10月） R4：4～6月 展示制作・春植え 会場内施工 ／ 8月 撤去･撤収
緑化7	展示・出展計画 （企業等出展）		行催事・協働	地元団体協議、出展募集要項、・出展勧奨リスト（4～5月） 出展意向調査・出展勧奨（5～9月） 参加申込（9～10月） 4/13GD打合せ 4/8ﾄﾞｰｺﾝ打合せ 5/14GD打合 4/16日造協道支部打 6/8GD打合せ 7/15岩見沢、登別、白老造園組合へ依頼 4/22建設業協会打合せ 出展説明会 出展配置調整、デザイン条件詳細設定（10～12月） デザイン説明会 施工ルール・施工調整（12～3月） 施工説明会R4.4月 R4：4～6月 施工 ／ 8月 撤去協議
緑化8	展示・出展計画 （自治体出展）		行催事・協働	9/15ドーコン・TSP打合せ（WEB） 参加自治体募集（4～5月） 参加自治体意向調査・募集（5～9月） 5/14GD打合 6/8GD打合せ 6/28GD打合せ デザイン作成要項・送付（10～11月） デザイン・材料・出展配置の決定（11～12月） デザイン・プレート原稿作成（10～12月） 花壇施工調整、プレート制作 R4.4月契約（12～3月） R4：4～6月　施工 ／ 8月　撤去
緑化9	展示・出展計画 （学校出展）		行催事・協働	参加校募集（4～6月） 参加校調整（6～9月） 出展詳細資料の送付（小・中学（10～11月） 資材等調達準備（中学校） R4.4月契約（11～12月） 植栽スケジュール調整 R4.4月契約（11～12月） 4/28教育総務課打合せ /11教育総務課打合せ 5/14GD打合 6/9校長会説明 7/15校長会説明 6/28GD打合 画用紙配布（10～11月） 回収（11～12月） 画用紙→フラッグ加工（12～3月） R4：4～6月 出展・植栽 ／ 8月 撤去・撤収

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ／ R4 ／ R5
緑化10	展示・出展計画 （屋内出展）		行催事・協働	実施計画策定 ／ 屋内出展調整（出展勧奨・出展調整） ／ 8/30都市緑化機構打合せ（現地） ／ R4：4～6月　出展　8月　撤収
緑化11	展示・出展計画 （コンテスト）		行催事・協働	実施計画策定 ／ 実施要領・審査要綱作成 ／ 表彰申請・審査委員依頼・出展者への譲歩提供 ／ 4/8ﾊﾝｷﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ道協会打合 ／ 5/20ﾊﾝｷﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ協会打合 ／ 5/14GD ／ 6/8GD打合せ ／ 5/24GD打 ／ 6/28GD打合 ／ 8/5GD打合せ ／ 8/6ﾊﾝｷﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ協会打合 ／ 10/1ハンギングバスケット協会会報誌で告 ／ 1/1ハンギングバスケット募集開始（会報誌） ／ R4：6月　審査　7月　表彰
緑化12	観客誘致・広報宣伝計画 （観客誘致）		総務・広報	実施計画策定 ／ 各種手配・ツール製作・イベント対応・マスコミ対応・ホームページ対応 ／ 4/16完 ／ 6/26　公式HP、SNS公開 ／ 8/25　公式HP,SNSリニューアル公開 ／ 12/1　公式YOUTUBEチャンネル開設 ／ 観光誘客戦略との連携 ／ 8/3　観光振興機構打合せ ／ 4/8･14道観光振興機構打合せ（最終） ／ 5/6契約事務調査会 ／ 9/6　観光振興機構打合せ ／ 企業、団体、学校、市民への周知 ／ 参加者を通じた草の根的な誘客 ／ R4：～12月　観客誘致
緑化13	観客誘致・広報宣伝計画 （広報宣伝）		総務・広報	実施計画策定 ／ WEB、SNSの活用 ／ 4/16完 ／ 横断幕・ポスター・チラシ等作成、配布、掲出 ／ 6/26_1年前プレイベント ／ ~~8/29_300日前プレイベント~~ ／ 9/30_テーマソング製作発表 ／ 12/14_テーマソング完成披露会 ／ ノベルティ制作（うちわ、花の種、ボールペン、クリアファイル、メモ帳、お弁当トートバック、タンブラー、手提げ袋、ポケットティッシュ、ピンバッジ） ／ 各種デジタルサイネージにおいて動画配信 ／ R4：～12月　広報実施
緑化14	観客誘致・広報宣伝計画 （公式記録）		総務・広報	公式記録作成 ／ 公式記録について、 ①R3＋R4委託とするか？ ②R3直営＋R4作成委託とするか？ 早期に検討して方針を決定する ／ **R4委託により実施する** ／ R4：～2月 公式記録作成

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3（4月〜3月）／R4／R5
緑化15	観客誘致・広報宣伝計画 （市直営）		総務・広報	5/14冠事業募集（FB） 5/18子どもたちと地域の未来を考える花と緑の全国首長会 R4北海道フェア期間中に研修会を検討 6/15 さっぽろ村ラジ 7/10〜11 恵庭市制施行記念フォーラム 9/**えにわん産業 10/1広報えにわ特集 9/18~10/31子どもたちと地域の未来を考える花と緑の全国首長会（南あわじ市） 10/3 Jリーグウォーキング、サイクルフェスタ 10/9 JRイベントウォーク 10/21 子育て応援隊講演会 10/23 えにわフットパス愛好会 10/25 えにわ合同企業説明会 12/26 成人式 1/6 新年交礼会 1/9 成人式 1/8〜10 さっぽろ連携中枢都市圏フェア 3/6 ブランチ札幌月寒 〜12月　広報実施
緑化15.1	（ノベルティ・ピンバッジ） （ノベルティ・ぬいぐるみ）		総務・広報	ピンバッジ製作・販売・配布 ぬいぐるみ検討 ぬいぐるみ製作 活用・配布 活用・配布
緑化16	行催事計画		行催事・協働	行催事実施計画 行催事レギュレーション 4/7TSP打合せ 4/12花くら打合せ 4/13SC当日イベント会議 4/20花くら打合せ 4/30花のまちづくり推進会議総 連携イベント 6/26_1年前プレイベント 29 300日前イベント検討 9/30 テーマソング制作発表 11/20音楽祭発表 1/9〜11 商業施設でのPRイベント 10/30たねダンゴ花壇制作 2/11 トークライブ 12/14 テーマソング完成披露 3/20、21 100日前イベント 12/18FAイベント 公式行事（スケジュール決定、運営方法調整、運営） 4/22さっぽろ花フェスタ打合せ 5/14冠事業募集（FB） 連携催事（スケジュール決定、運営方法調整、運営） 市民連携催事（スケジュール決定、作業体制決定、運営方法調整、運営） 4/21 5/11日本造園学会準備会 シンポジウム（スケジュール決定、作業体制決定、運営方法調整、運営） 6/25〜7/24 広報宣伝は、2/31まで
緑化17	会場運営計画 （会場運営）		整備・運営	実施計画策定 実施調整（レギュレーション策定など） 4/5TSP打合せ（WEB） 6/30TSP打合せ（現地） 7/26TSP打合せ（現地） 会場運営ルール詳細計画、関係機関、施設との調整 ボランティア募集要項作成 ボランティア募集 〜6月 マニュアル作成・説明会 実施 6/25〜7/24

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月／R4／R5
緑化18	会場運営計画 （飲食・物販）		整備・運営	実施計画策定／実施調整（レギュレーション策定など）／募集要項作成／営業参加者募集／決定／9/23マルシェ打合せ（花・緑）／※商工会議所、青年会議所、市内飲食店等協議 R4：4月～5月 マニュアル作成 出店者説明会の開催　実施　6/25～7/24
緑化19	交通輸送計画		整備・運営	実施計画策定／実施調整（レギュレーション策定など）／交通輸送運営詳細計画、関係機関、施設との調整／6/2道協議（都市[illegible]）／7/20エコバス協議（市民生活課）／6/10北海道協議（都市環境課）／6/16関係者協議／6/30TSP打合せ（現／7/26TSP打合せ（現地）／バス事業者発注調整／5/21協議（千歳道路事務／8/2協議（札幌開発建設部）／9/14～9/15 バス事業者訪問／交通サイン設計・協議／※道路管理者協議、屋外広告物協議／公安委員会・警察署協議 R4：～6月 バス事業者調整、マニュアル作成　実施 6/25～7/24
緑化20	協働推進・人材育成計画		行催事・協働	ワークショップ／ワークショップ／ワークショップ／事業検討 計画反映／関係機関調整等／実施協議／4/7SC準備会／4/8SC広報PR分科会／4/11SCまちなか分科会／4/13SCステージ分科会／4/15SCまちなか分科会／4/19SCまちなか分科会／4/20SCﾂｱｰ分科会／4/20SCｾﾐﾅｰ分科会／4/20SC飲食分科会／4/20SC恵庭駅視察／4/27SC広報PR分科会／5/27SC飲食分科会／7/8SCｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰ勉強会／7/15SC準備会／7/21SC飲食分科会／7/27SCｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰ勉強会／7/28SCｾﾐﾅｰ分科会／7/29SCステージ分科会／7/29SC広報PR分科／8/4SCまちなか分科／8/26SCｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰ勉強会／9/3SC飲食分科会／9/7　全体準備会／9/10SC飲食分科会／10/6SCｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰ勉強会／10/14SCまちなか分科会／10/20SC飲食分科会／11/4SCステージ分科会／11/24SCまちなか分科会／11/24SC飲食分科会／11/30SCｶﾞｲﾄﾞﾂｱｰ勉強会／12/21　全体進捗会議／1/20SC飲食分科会／2/24SC飲食分科会 R4：ワークショップ　実施　6/25～7/24　継続検討

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3：4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ／ R4 ／ R5
緑化21	協賛会場との連携計画 （協賛・スポット会場、市町村連携）		総務・広報	市町村連携調査／連携内容の調整／各団体参加意向調査／開催に係る準備／実施 R4：～6月　準備 6/25～7/24　実施 7～8月　撤去等
緑化21.1	（市外・民間等協賛会場調整）		総務・広報	4/22ゆにガーデン／4/23えこりん村／4/26いわみざわ公園／4/28サッポロビール／各団体参加意向調／協賛会場募集 8/4~8/31／7/28イコロの森／8/2ノーザンホースパーク／9/13サッポロビール R4：フェア開催
緑化21.2	理事者検討指示項目 （周遊の仕組みつくり事業）		総務・広報	地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業（道観光振興事／メニュー検討・申請／審査結果通知／事業実施／4/13制度説明会／4/27申請／5/27採択／意向調査／ツアー企画／モニターツアー①／モニターツアー②／モニタリング顕彰 課題抽出・分析・解決／ツアー商品化検討・協議／6/30観光振興機構打合せ／9/27GIH打合せ／花めぐりマップ作製・雑記広告／各団体参加意向調査／カード作成／配布準備／6/16カード課内打合せ／6/24カード北海道打合せ／10/4モニターツアー(半日)／4/21GIH打合／4/23朝日サービス打合せ／9/21都市緑化機構視察／10/11モニターツアー(一日) R4：フェア期間実施 継続検討・協議
緑化22	全国都市緑化祭 （緑化祭実行委員会）		行催事・協働	国・道・機構と調整／実行委員会設立・第1回／設立・委員移植 開催方針 日程・予算／国・道・機構と調整／第1回指名選考委員会／5/19 宮内庁協議／5/19 お成り依頼文書発出 R4：全国都市緑化祭実施 実行委員会解散
緑化22.1	全国都市緑化祭 （北海道との打合せ）		行催事・協働	オープンガーデン視察検討→祝賀会参加／4/21理事者報告（箱日程等）／4/14理事者レク（概要説明）／4/15道庁協議・祝賀会会場確認／7/31実行委員会設立／9/7指名選考委員会（WEB）／3/25第2回総会／実施計画・運営ﾌﾟﾛ／実施計画・運営委託／5/19宮内庁協議（web）／4/5国土交通省協議（web）／4/27国土交通省協議（web）／11/25契約／3/11宮内庁協議（web）

令和３年度　業務管理工程表（経済部・緑化フェア推進室）

番号	項目／概要等	区分	担当課	スケジュール
30	【項目】 全国都市緑化フェアの開催	【総合計画】 Ⅲ-13 政策事業番号	全国都市緑化北海道フェア推進室	R3（4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月）／R4／R5
緑化23	みどりの社会貢献賞 （主催：公益財団法人都市緑化機構）		総務・広報	募集（6/21～8/27） ＜応募団体＞ ・株式会社ノーザンホースパーク（苫小牧市） ・株式会社アレフ：えこりん村学校（恵庭市） ・武田薬品工業株式会社：京都薬用植物園（京都市） ・出光興産株式会社　北海道製油所（苫小牧市） ・サッポロビール株式会社　北海道工場（恵庭市） 書類確認（機構） 現地確認（機構） 12/13審査委員会 決定 2/17公表 R4：7月　表彰
緑化24	理事者検討指示項目 緑の活動者（活動団体への表彰／恵庭市独自）		総務・広報	検討指示 7/20花と緑観光課との打合せ 8/23企画課との打合せ スケジュール・表彰基準等検討 対象者抽出 12/** 花と緑観光課 企画課との打合せ 3/** 花と緑観光課 企画課との打合せ R4：フェア期間中に表彰

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月7日作成

担当部課名　水道部　経営管理課

事業名　下水道ビジョンの策定及び下水道事業経営戦略の見直し

作成者名　高　橋　豊

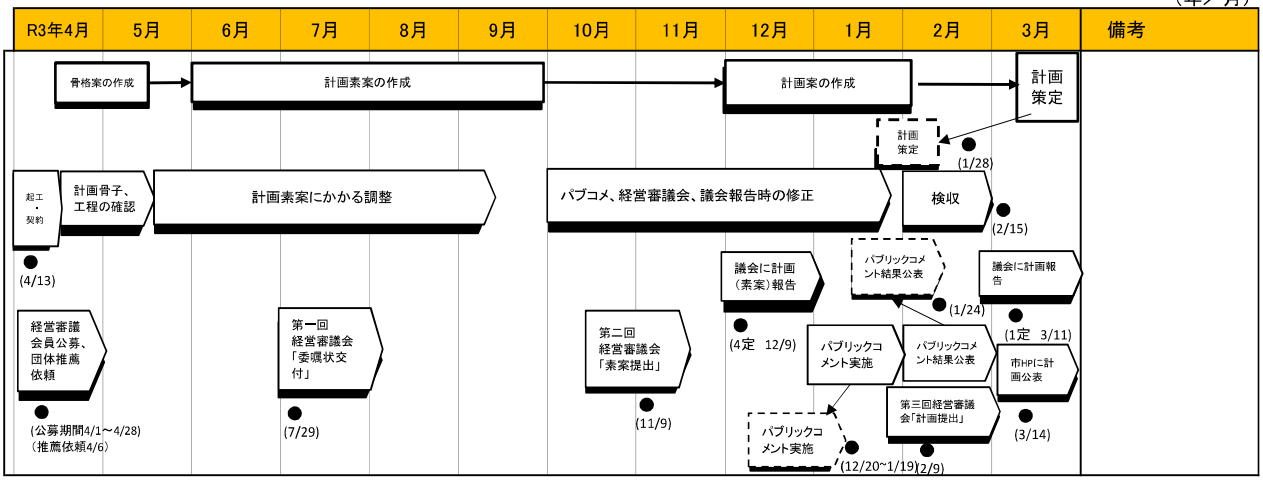
事業概要	新規に「下水道ビジョン」を策定するとともに平成30年5月に策定された「下水道事業経営戦略」の見直しを行い一本化し、恵庭市の下水道事業の将来にわたって安定的な下水道事業を継続するため「下水道ビジョン・経営戦略」を策定した。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・水道下水道専用HPへの掲載 経営審議会委員の公募
■市民から意見を募集する	パブリックコメントの実施(令和3年度実施)及び活用
■市民と協議する	学識有識者及び団体等推薦委員に加え、公募委員で構成される経営審議会の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	計画策定事業
市民参加度区分	I

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	公募委員(市民)が構成員にいる経営審議会にて意見の聴き取りを行うとともに、計画(素案)のパブリックコメントを行うことで広く市民意見を反映させながら計画の策定を行った。
後年次(令和4年度)評価 (行革専門部会)	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　3月31日作成

事業名　GIGAスクール構想	担当部課名　教育部教育総務課
	作成者名　和合　智子

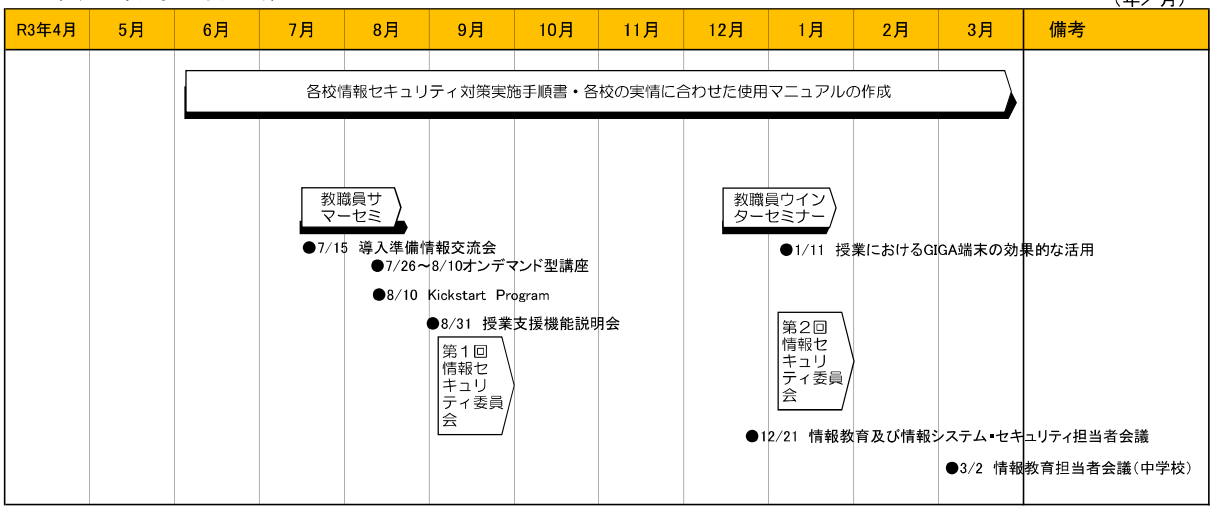
事業概要	令和3年度は前年度からの繰越明許費で、ネットワーク等工事の完了と、各校の運用基準作成やセキュリティポリシー徹底のための研修や授業、校務における活用についての校内研修や授業公開を行うことで、取組内容を共有し有効に活用する。「情報セキュリティ対策基準」、「情報セキュリティ対策実施手順書」、「Chromebook運用マニュアル」を基に、運用開始により生じる課題を各校のシステム・セキュリティ担当者で構成する『情報セキュリティ委員会』で協議し、手順書や運用マニュアルの見直しを適宜進めていく。 ＜特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現＞ ■小中学校児童生徒に1人1台端末の整備 ■学校に高速大容量の通信ネットワークを整備（Wifi、クラウドサービス等） ■時間・距離に制約なく良質な学びの提供 ■個別に最適化した効果的な学びや支援 ■学校における事務の効率化　等

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
□市民へ公表・周知する	
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	12月に情報セキュリティ担当者会議、3月に情報担当者会議を開催。当初予定していた「情報セキュリティ委員会」については、各校のセキュリティ対策マニュアル等の進捗から、担当者会議に切り替えて実施した。
■市民の理解を深める	教職員サマーセミナー・ウインターセミナー サマーセミナーの前後も含めて、4回の研修を実施。ウインターセミナーでは「授業におけるGIGA端末の効果的な活用」をテーマに研修を実施。
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅲ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	情報セキュリティに関する取組において、担当者会議の開催を実施することができた。また、サマー・ウインターセミナーでは、コロナ禍に対応したオンデマンド研修も交えて複数回実施し、教職員の理解を深めることができた。当事業は学校意見を反映させることが必要であり、教職員（市民）から意見聴取を行うことができた。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　3月　31日作成

担当部課名　教育部教育総務課

事業名　学力・体力向上推進事業

作成者名　笹村　雄平

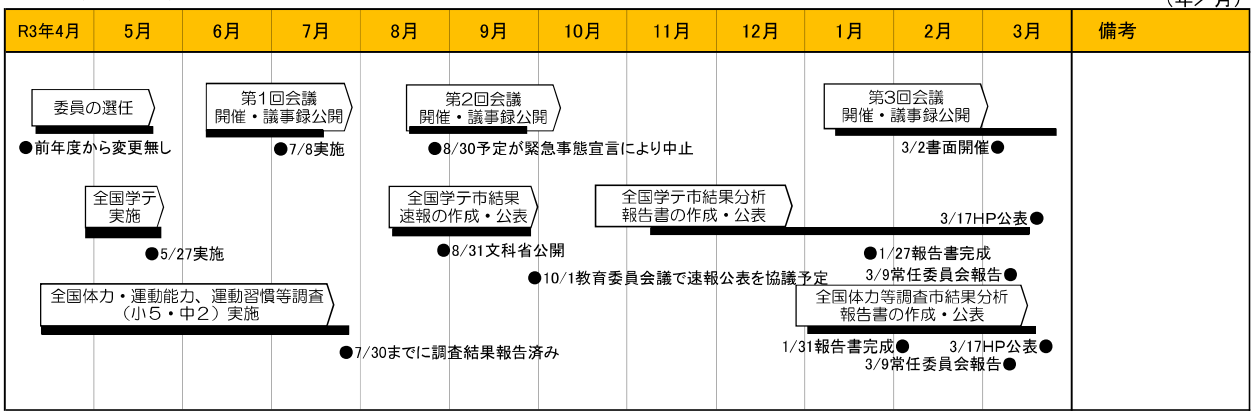
事業概要	児童・生徒の学力・体力については、毎年、全国調査が行われ、公表された結果を各校において分析し、その結果を活用している。 今後、確かな学力や運動能力を身につけ、向上させるためには、市全体の現状を分析し、課題を明らかにするとともに、課題解決に向けた方策について検討し、改善を図ることにより、市全体の学力・体力の向上につなげることが必要であることから、下記の施策等を実施しながら、「学力・体力向上推進会議」を設置し、児童生徒の学力・体力向上に向けた研究、協議をしている。 ■学力向上アドバイザーの設置（1名） ■標準学力検査（NRT）・知能検査の実施 ■英検IBA（英語力の測定）の実施　※令和元年度～3年度は道教委の事業として実施 ■小学校外国語授業における外部人材の活用 ■学力・体力向上に係る施策の実施 ■体育授業等実技支援に係る地域人材の活用

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	「学力・体力向上推進会議」の公開、議事録のホームページへの公表　※第1回・第3回 全国学力調査、全国運動能力調査の結果等のホームページへの公表と市内公共施設へ閲覧資料の設置
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	「学力・体力向上推進会議」の実施 ※対面会議は第1回目のみ。新型コロナウイルス感染症の影響により、第2回は中止、第3回は書面会議とした。
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	コロナ禍にあっても、推進会議を書面を含め開催し、有識者等の市民を交えた協議・意見聴取を行い、推進している取組の評価や新たな施策等への反映を行っている。また、全国学力調査等の結果を分析し、ホームページ等で公開することで、恵庭市の教育の状況と取組を市内外に広く周知することができた。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名　教育部社会教育課

事業名　第5期生涯学習基本計画の推進・評価

作成者名　主査　桑原　一徳

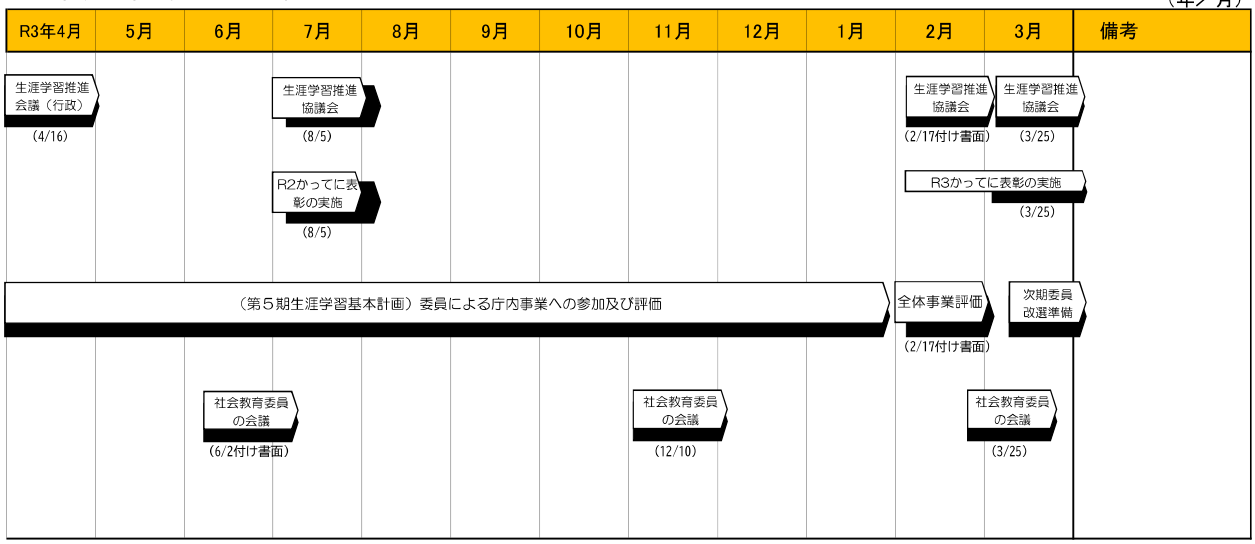
事業概要	令和2年度に、恵庭市の生涯学習を推進する「第5期恵庭市生涯学習基本計画」を市民との協働によって策定した。 市民による「生涯学習推進協議会」と行政による「生涯学習推進会議」が評価事業を通じた対話のもと、協働で第5期生涯学習基本計画を推進する。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市HPへの掲載
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	生涯学習推進協議会による協議
□市民の理解を深める	
■市民と行動する	生涯学習推進協議会と協働による事業評価の実施

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	令和3年度はコロナ禍の影響により事業評価の対象事業が中止となったり、書面会議に置き換える等の一部変更はあったが、概ね当初の計画通り実施した。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月25日作成

担当部課名 教育部社会教育課

事業名　生涯学習施設かしわのもり指定管理者制度導入事業

作成者名　主査　桑原　一徳

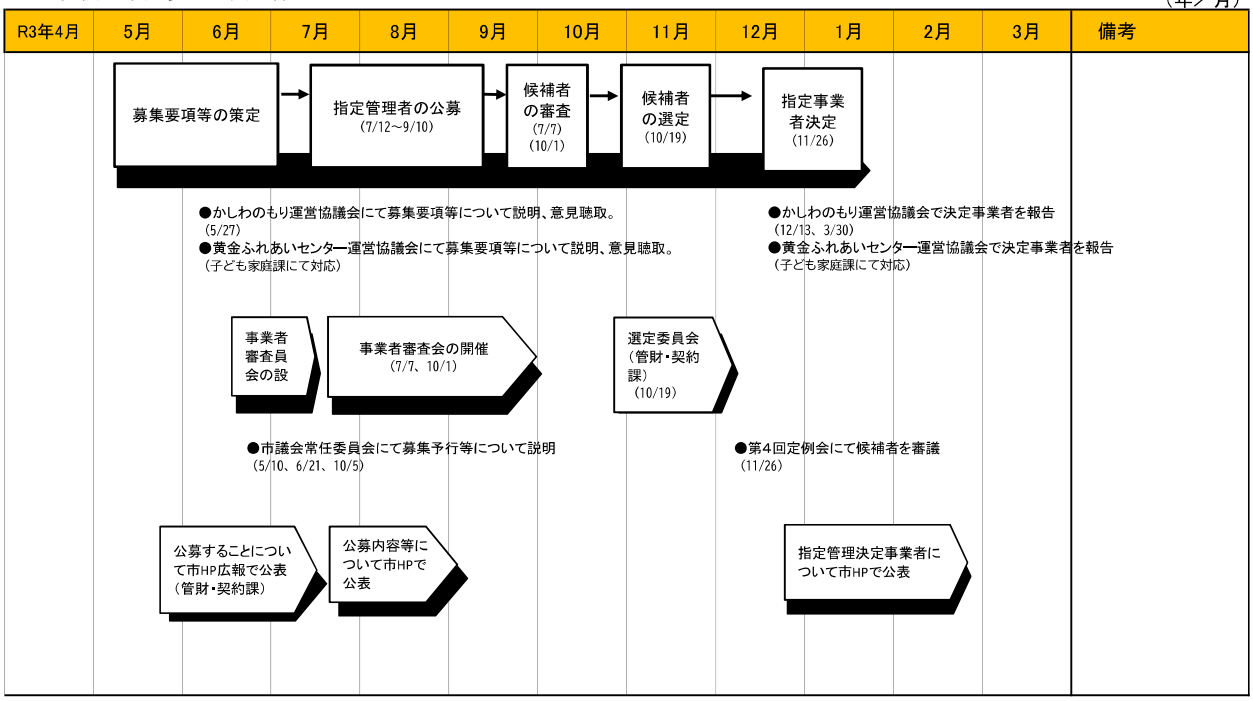
事業概要	生涯学習施設かしわのもり管理運営について、民間の活力を取り入れ市民サービスの向上を図るため、令和4年度から指定管理者制度を導入予定。 子ども未来部が所管する「黄金ふれあいセンター」と一体的に指定管理者制度が導入できるようよう、子ども未来部と連携して進める。 指定管理者の募集要項等については「黄金ふれあいセンター運営協議会」「かしわのもり運営協議会」にて協議をしていただき、さらに、応募者の審査では「黄金ふれあいセンター運営協議会」「かしわのもり運営協議会」の代表等による審査会を設置し、市民参加のもと、事業を実施する。

市民参加項目	使用する市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市広報紙・市HPへの掲載 指定管理事業者の公募
□市民から意見を募集する	
■市民と協議する	かしわのもり運営協議会の開催 指定管理者設置に伴う事業者審査委員会の開催
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	工程表に記載のとおり、市民周知、議会報告、運営審議会等、当初の計画通り実施し、令和4年度より指定管理者制度を導入することが出来た。
後年次（令和4年度）評価（行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和　4年　3月　30日作成

担当部課名　教育施設課

事業名　教職員住宅（管理者、集合）の在り方基本方針の改定

作成者名　課長　西岡　宏之

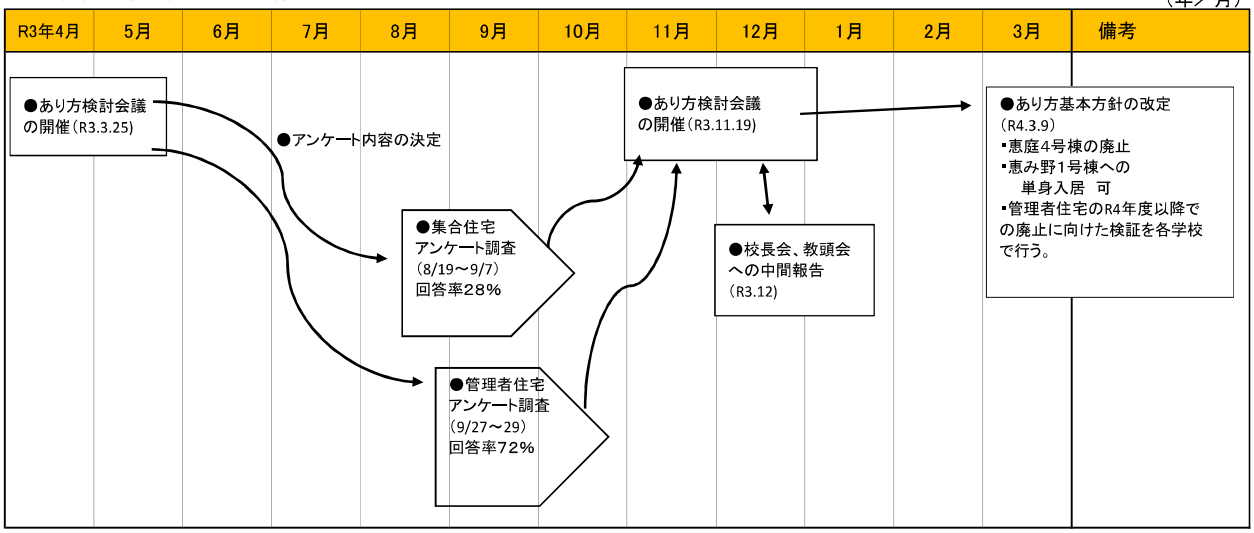
事業概要	【管理者住宅】 管理者住宅は、緊急時の迅速な対応や地域との連携など、良好な学校運営の観点から各学校に2棟設置し校長、教頭が居住してきたところでありますが、これまでの「あり方検討会議」の意見を踏まえ、平成26年度より各学校1棟の設置となり現在、教頭が居住している事となっています。 しかしながら、管理者が単身赴任することによる経費負担の増大や施設の老朽化に伴う改善費用の確保が困難であること、また恵庭市における交通の利便性や校舎に機械警備が導入されている事など総合的に判断すると、残りの管理者住宅の廃止等を検討する必要があると考えており校長、教頭、主幹教諭へアンケート調査を実施し今後の在り方について検討する必要があると考えています。 【集合住宅】 教職員集合住宅は、転勤の多い教員に対して安定かつ良好な居住先を確保する事を目的に、現在世帯用として恵み野1号棟、単身用として恵庭4号棟の2棟を確保していますが、民間賃貸住宅の普及や施設老朽化により入居率が低下している事から、恵庭4号棟については用途廃止し恵み野1号棟に維持管理を集中させる共に単身入居を認め、満室運営となるよう在り方を検討する必要があると考えています。

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	市公式HPによる公表
■市民から意見を募集する	市内小中学校に勤務する教職員へアンケート調査を行う。
■市民と協議する	教職員住宅あり方検討会議の開催 ※検討会議の委員（小中学校教職員）　4人
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ハード事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表※市民参加手法に係るもの

（年／月）



令和3年度　所管課評価	市内小中学校に勤務する教職員に対し、アンケート調査を実施し、その結果をあり方を検討会議にて協議することで、管理者住宅及び教職員集合住宅のあり方に対して一定の方針を示すことが出来た。 管理者住宅は令和4年度に廃止に向けた検証を各学校にて行う。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み

市　民　参　加　調　書【 令和3年度実績 】

令和4年3月31日作成

担当部課名　議会事務局

事業名　議会モニターの設置

作成者名　吉川けい子

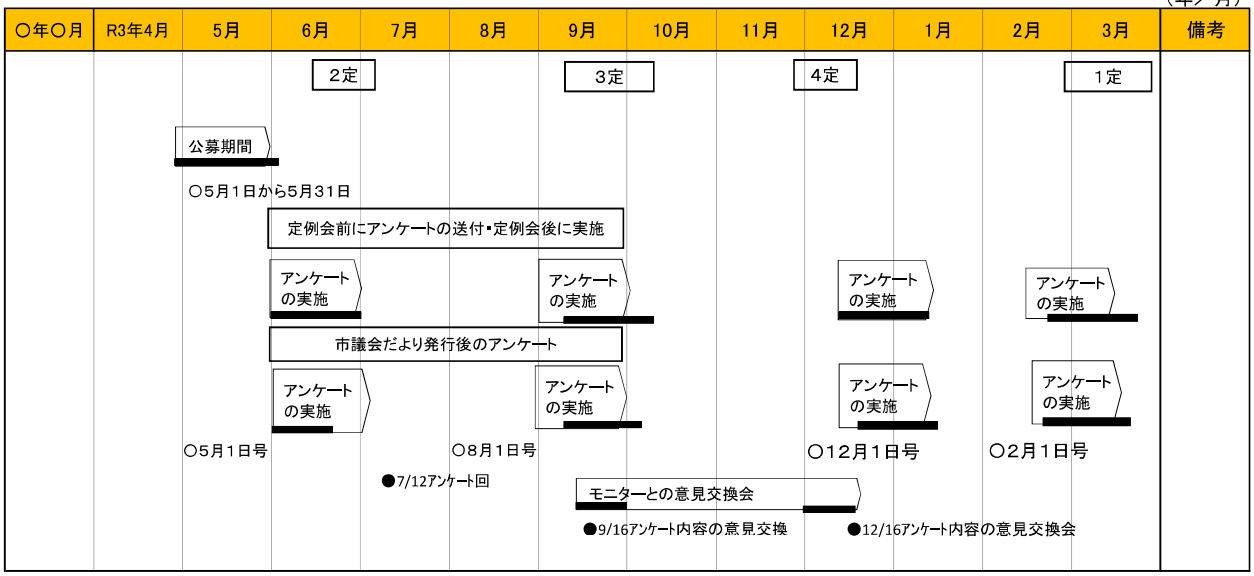
事業概要	議会改革を進めるうえで、その方向性について常に住民の視点となり、住民の意見や要望を市政に反映させることを目的に、住民と議会との距離感を更に身近にするため議会モニターを設置する。 ○議会モニター任期　令和3年6月1日～令和4年3月31日

市民参加項目	R3年度に使用した市民参加手法
■市民へ公表・周知する	えにわ市議会だより・市HP・Facebookへの掲載
■市民から意見を募集する	アンケート調査の実施
■市民と協議する	議会モニターと議員との意見交換会
□市民の理解を深める	
□市民と行動する	

事業区分	ソフト事業
市民参加度区分	Ⅱ

■ 工程表

（年／月）



令和3年度　所管課評価	議会中の議場及び各常任委員会、委員会を市民13人の議会モニターが傍聴し、各議員の議会への取り組み方や発言内容を見て、聞いて感じたことなど、アンケートにより回答し、その内容について意見交換会を行いながら、議会改革に取り入れ、より市民に分かりやすい議会とするための議会モニターを設置した。
後年次（令和4年度）評価 （行革専門部会）	市民参加手法が取り入れられていることを確認済み